

関西ハーモニカ連盟会報

ハーモニー

Harmony



ドレミちゃん
© 関西ハーモニカ連盟 2011

214

2018年1月

関西ハーモニカ連盟 組織 2017年10月16日現在

| | |
|------------------|---|
| 常 任 理 事 | <p>会 長 仲村 眞 〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山東 1-7-15 フォルム帝塚山 309号 TEL 06-6674-0152 FAX も同じ</p> <p>理 事 長 吹上晴彦 〒602-8488 京都市上京区真倉町 757-107 TEL 075-411-1531 FAX も同じ</p> <p>副理事長兼事業部長 梁木 進 〒599-8116 堺市東区野尻町 192-20 TEL 072-284-8808 FAX 072-286-4890</p> <p>事業部長補佐 金丸寿夫、鐘ヶ江義行、木ノ山洋子、保理江元子</p> <p>副理事長兼事務局長 村上博昭 〒630-0141 生駒市ひかりが丘 1-13-20 TEL 0743-79-9559 FAX も同じ</p> <p>事務局長補佐 角野まゆみ</p> <p>編 集 局 長 もり・けん 〒594-0041 和泉市いぶき野 4-1-4-209 TEL 0725-57-7235 FAX も同じ (会報の原稿は会報編集室まで)</p> <p>連盟会報編集室 (会報の原稿の送付先、会報誌に関する問い合わせ等) harmonica@cardandmedia.co.jp 〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F 関西ハーモニカ連盟事務室 TEL 06-6354-0323 FAX 06-6353-1393</p> <p>編集局長補佐 岩本洋之、竹内寿子</p> <p>HP 広報担当 渡辺晃志</p> <p>研 修 部 長 小林由美子 〒662-0046 西宮市千歳町 7-42 TEL 0798-22-1844 FAX も同じ</p> <p>研修部長補佐 住田陽子、永野富康、西本豪介、丸山茂生</p> <p>組 織 部 長 梅田恒弘 〒611-0021 宇治市宇治塔川 3-11 TEL 0774-21-2373 FAX 0774-39-5506</p> <p>組織部長補佐 松岡郁子 (会計兼務)</p> <p>会 計 部 長 柴田正之 〒654-0013 神戸市須磨区大手町 5-3-1 TEL 078-734-5157 FAX も同じ</p> <p>会計部長補佐 松岡郁子 20人</p> |
|------------------|---|

| | |
|---------|--|
| 理 事 | <p>(五十音順) 青木鈴子、新井尚子、稲垣裕子、井上純一、* 内田常雄、小川未佐子、尾崎雄三、* 小野浩子、* 喜多創平、木原淳、* 坂田利雄、佐藤長、園真佳、高阪他美子、高山美千代、田口幸輝、* 竹本雅英、谷口昌子、戸田秀徳、富久鉄男、仲井治夫、中谷晃、中西富佐男、新山ミツ子、羽原伸示、林和子、林一義、福島隆志、藤本勇、藤原延之、松本忠義、松本千佳子、道下雅之、光野利一郎、山口昌代、和谷篤樹、渡邊義明 (* は事業部長補佐) 37人</p> |
| 会 計 監 査 | 後藤貞男 |
| 常 任 顧 問 | (五十音順) 岡谷秀喜、笹山恵司、寺村安雄、村上浩一、吉村則次 5人 |
| 顧 問 | (五十音順) 岡村貞彦、西田幸司、渡辺 昇 3人 |
| 特 別 顧 問 | (五十音順) 甲賀一宏、斎藤寿孝、十河陽一、徳永延生、森本恵夫、和谷泰扶 6人 |

関西ハーモニカ連盟 ホームページ <http://harmonika-renmei.studio-web.net/>

入会のご案内 組織部長

入会金：1000円 (団体は1団体1律1000円)

年会費 (1月から12月)：

個人会員 5000円、地域外個人会員 5000円、準会員 (30歳未満の方) 1000円

団体会員 (5名以上の団体で1名につき) 1000円、賛助会員 10000円

郵便振替口座：00950-6-115527、加入者名：関西ハーモニカ連盟、通信欄に「入会申し込み」と記入してください。

◎入会申込書は必ず組織部へお送り下さい。

ハーモニカが好きなら、吹く方、吹かない方、上手な方、下手な方、上手になりたい方、ニュースだけほしい方等、どなたでも入会できます。



関西ハーモニカ連盟会報 ハーモニー 第214号 (2018年1月号)

発行部数 550 毎年1、4、7、10月に発行 (送付はそれぞれ前月中下旬)

表紙の写真は岩本洋之さんのお孫さん、ユリアちゃん 1歳 11ヶ月、

裏表紙は東尚子さんのお孫さん、大垣絢香ちゃん 3歳 3ヶ月と

夙川宝保育園の子どもたちです。



| | | | |
|---|--------------------|----------------|----|
| 関西ハーモニカ連盟 2018年度『定時総会』 招集のご案内 | 理事長 事務局長 | 吹上晴彦 村上博昭 | 2 |
| 関西ハーモニカ連盟への入会のご案内 | 組織部 | | 3 |
| 組織部・会計部からのお願い | 組織部長 会計部長 | 梅田恒弘 柴田正之 | 4 |
| 個人会員 準会員 賛助会員 入会申込書 | 組織部 | | 5 |
| 団体・団体会員 申込書 (新規・継続) | 組織部 | | 6 |
| 西日本ハーモニカコンテストのご案内 | 事業部長 | 梁木進 | 7 |
| 事務局日より 常任理事会実施報告 | 事務局 | 角野まゆみ | 7 |
| 「国文祭・障文祭なら 2017」&「ハーモニカ祭り」 成功裡に終了 | 事業部長補佐 | 鐘ヶ江義行 | 8 |
| 宮崎ハーモニカ愛好会 & 関西ハーモニカ連盟 交流旅行報告 | 事業部長 | 梁木進 | 10 |
| 2018年度 研修会のご案内 | 研修部長 | 小林由美子 | 12 |
| 2017年度第3回研修会 | | 角野まゆみ | 14 |
| ハーモニカカレンダー | 編集局 | | 16 |
| 感想文「第32回国民文化祭なら」 | 編集局 | | 18 |
| 「株式会社トンボ楽器製作所 創立百年記念式典」 に参加して | 理事長 | 吹上晴彦 | 20 |
| 甲賀一宏先生 天国へ | 編集局 | | 21 |
| 編曲できることは素晴らしい ハモニ館、夏の終わりのハーモニカ・コンサート | | 吉村則次 | 22 |
| 「デュオ・ユットラ THE Hom β アンサンブル・ハモニ館」 リサイタル御礼 | ハモニ館 | 吹上晴彦 | 23 |
| 「第2回ハーモニカ基礎特別講座」を受講して | | 中崎利枝子 羽畑久美子 | 24 |
| 世界ハーモニカ大会、日本は不調 | | 吉村則次 | 25 |
| 教室日より 豊中ハーモニカアンサンブル | 代表 | 満留興一 | 26 |
| 教室日より グッドフェローズハーモニカクラブ | 代表 | 森浦和子 | 27 |
| ハーモニカンズ・アバンドーネ 15周年記念 コンサートを終えて | ハーモニカンズ・ アバンドーネ | 林和子 | 28 |
| 吉村教室合同発表会、午後1時から6時まで盛大に | | 吉村則次 | 29 |
| 垂水ハーモニカ友の会 第13回発表会を終えて | 友の会前会長 | 澁山晴夫 | 30 |
| 連盟サイト閲覧手引きⅣ (最終回) | 編集局 HP 担当 | 渡辺晃志 | 31 |
| ハーモニカが上達するための大切なこと (69) | | 池田輝樹 | 32 |
| 日本の宝物「童謡」誕生 100年Ⅱ | 日本童謡協会会員 | もり・けん | 33 |
| 第四回岩崎先生から教わった演奏上の技法 (最終回) 分散和音を消すやり方 | < A H A からの転載 > | | 34 |
| 温故知新 ビアダルポルカ | | 寺村安雄 | 36 |
| れんめいひろば | 編集局 | | 38 |
| “行って！見て！聞いて！” (私の備忘録) vol.7 「ルーティン」 | | 岩本洋之 | 39 |
| 編集後記 | 編集局長 | もり・けん 他 | 40 |

関西ハーモニカ連盟会員各位

関西ハーモニカ連盟 2018年度『定時総会』招集のご案内

関西ハーモニカ連盟理事長 吹上晴彦

担当 事務局長 村上博昭

当連盟 2018 年度定時総会を下記の通り開催致しますので、万障繰り合わせの上、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

1. 日時：定時総会 2018年2月11日（日曜日・建国記念の日）午後3時より
2. 場所：大阪市西区江戸堀 1-15-30 北京料理 徐園 電話 06-6448-5263
3. 議題：① 2017 年度事業報告の件

交流旅行、関西ハーモニカ祭り・国民文化祭なら、研修会他

② 2017 年度収支決算報告書承認の件

③ 会長・理事（全員）・会計監査改選の件

④ 2018 年度事業計画承認の件

西日本ハーモニカコンテスト、関西ハーモニカ祭り、合宿交流会、研修会他

⑤ 2018 年度予算案承認の件

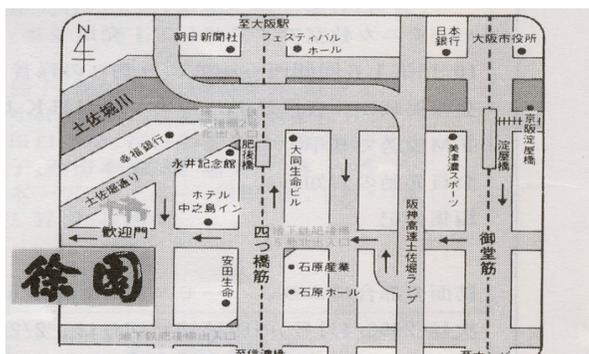
◎議決権を有する会員で総会に欠席される方は、事前に事務局に異議の申し出がない限り、一切の議決権を理事長に委任したものとみなします。

◎団体会員は、原則として議決権のある「団体会員代表者」の出席を御願います。

◎総会終了後、交流懇親会を同所で実施します。 会費 5,000 円（午後5時頃～を予定）

◎年会費及び懇親会費は所定の振込み用紙にてお支払いください。

◎出欠は、同封の葉書にて、12 月末日までにご返送ください。



- ・地下鉄四つ橋線肥後橋駅
2 番出口より徒歩 1 分
- ・京阪電車 中之島線渡辺橋
7 番出口より徒歩 5 分

- * 御願
- ・年会費の支払は、当会報に同封の振込み用紙にて 1 月 31 日までに送金願います。（現金でのお支払は受け付けていません）
 - ・「振込み忘れで退会扱いトラブル」等にならないようご協力御願います。
 - ・止むを得ない事情により当会を退会される方は、同封の葉書にてその旨を連絡ください。
 - ・2018（平成 30）年入会として申し込まれて既に 2018 年度会費を納入済みの方、及び特別顧問の方は、同封の振込用紙を無視してください。

関西ハーモニカ連盟への入会 ご案内

組織部

《ハーモニカに関心のある方ならだれでも・いつでも入会できます。》

関西ハーモニカ連盟の主な活動

- ・ハーモニカコンサート（ハーモニカ祭り）
- ・ハーモニカコンテストの開催
- ・ハーモニカ情報を満載した会報「ハーモニー」を年4回（1. 4. 7.10月）発行
- ・懇親会・研修会・研究会・合宿・交流会等の開催

《入会金と年会費》

- 入会金 (個人・準会員) 1,000円
 (団体) 1団体一律に 1,000円
- 年会費 (個人会員) 5,000円
 (準会員) 1,000円 若手育成のため30歳未満の方に正会員並みの待遇をします。
 (団体会員) 1名当たり1,000円
 (賛助会員) 1団体当たり 10,000円

《入会方法》

- ・P5、P6に掲載の入会申込書をA4判に拡大コピーして所定事項を記入し、入会金および会費の振込証（コピー）を添付してお申込みください。
- ・団体は5人以上でご加入ください。（個人会員・準会員の重複加入も認める。）
- ・会員名簿には、団体については「団体名」「代表者名」「住所」「電話番号」「会員の氏名」「人数」を公開します。

《入会申込書送付先》（FAX,E-mailでも可）

〒611-0021 京都府宇治市宇治塔川3-11 梅田恒弘
Tel 0774-21-2373 Fax 0774-39-5506
E-mail: umeda-tsunehiro@kdt.biglobe.ne.jp

《入会金・年会費送金先》

下記の口座へ郵便振込みで送金をお願いします。

振替口座 番号 00950-6-115527、名義 関西ハーモニカ連盟

| | | | |
|------|------|---------|--------------|
| 会計部長 | 柴田正之 | Tel/Fax | 078-734-5157 |
| 組織部長 | 梅田恒弘 | Tel | 0774-21-2373 |
| | | Fax | 0774-39-5506 |

《組織部・会計部からのお願い》

組織部長 梅田恒弘

会計部長 柴田正之

新年度を迎えるにあたり、次の4点についてご協力をお願いいたします。

「個人会員・準会員・賛助会員 登録（継続）」

- 継続者はこの会報に同封の葉書の継続に○をつけてください。
- 新年度会費（個人：5,000円、準会員：1,000円、賛助会員：1団体当たり10,000円）を1月末日までに会計部へお振り込みください。
昨年から会費納入期限が1月末になりましたのでご協力ください。
万一2月末日までに未納の時は、連盟規約第5条-6（会員資格の喪失）③により不本意ながら退会扱いになりますのでご注意ください。

「個人会員登録・準会員・賛助会員 登録（新規入会）」

- 5ページに掲載の「《個人会員》《準会員》《賛助会員》入会申込書」をA4判に拡大コピーし必要事項をご記入の上、必ず組織部へご送付ください。
- 入会金（1,000円）と年会費（個人：5,000円、準会員：1,000円、賛助会員：1団体当たり10,000円）は会計部へお振り込みください。

「団体・団体会員 登録（継続）」

- 「団体会員」は前年度からの継続者をも含めて年度毎に登録しなければなりません。
6ページに掲載の「《団体・団体会員》申込者（新規・継続）」をA4判に拡大コピーし必要事項をご記入の上、1月31日までに必ず組織部へご送付ください。
- 年会費（団体会員1人につき1,000円）は1月末日までに会計部へお振り込みください。
昨年から会費納入期限が1月末になりましたのでご協力ください。
万一2月末日までに未納の時は、連盟規約第5条-6（会員資格の喪失）③により不本意ながら退会扱いになりますのでご注意ください。

「団体・団体会員 登録（新規入会）」

- 6ページに掲載の「《団体・団体会員》申込書（新規・継続）」をA4判に拡大コピーし必要事項をご記入の上、必ず組織部へご送付ください。
- 入会金（団体新規登録時のみ1,000円）と年会費（団体会員1人につき1,000円）は会計部へお振り込みください。

（組織部）「個人会員」「準会員」「賛助会員」「団体・団体会員」申込書の送り先

〒611-0021 宇治市宇治塔川3-11 梅田恒弘

（会計部）「入会金」「年会費」の振込先

振替口座 番号 00950-6-115527 名義 関西ハーモニカ連盟

関西ハーモニカ連盟

会長 仲村 眞 殿

理事長 吹上 晴彦 殿

《個人会員》《準会員》《賛助会員》 入会申込書

(上記、申したい会員を○で囲む)

年 月 日

| | | | | |
|-------------------------------------|--|---------------|--------|------------------|
| (ふりがな) | | (性別) | 男 | 女 |
| 氏 名 | | 準会員の方は年齢 | | 歳 |
| 住 所 (ふりがな) | 〒 ー | | | |
| | 府・県 郡・市 町・村 | | | |
| 電 話・FAX | - | - | FAX | - |
| 携 帯 | - | - | | |
| e-mail | | | | |
| ホームページ | | | | |
| 《非公開事項》 | 番地・電話番号の公開を | | ①認める | ②認めない |
| ご入会の動機 | | | | |
| ご 紹 介 者 | | | | |
| 生 年 月 日 | T. S. H | 年 | 月 | 日生 (ハーモニカ経験年数) 年 |
| 加入教室・演奏団体 | | | | |
| 主にご使用のハーモニカ | 複音 | クロマチック | 10ホール* | 合奏ハーモニカ () |
| 加入他団体名(○をつけて下さい) | 全日本ハーモニカ連盟、日本ハーモニカ芸術協会、F I H、N H C、 ハーモニカ振興会、その他() | | | |
| (入会金・年会費 振込証のコピー) 貼 付 | | (連盟への期待・要望など) | | |
| | | | | |

組織部

関西ハ一モニカ連盟 会長 仲村 眞 殿
 理事長 吹上 晴彦 殿

《団体・団体会員》 申 込 書 (新規・継続) 年 月 日
 (新規か継続かを○で囲む)

| | | | |
|----------|--------|--------|---------------|
| 団体名 | (ふりがな) | | |
| 代表者名 | (ふりがな) | 性別 | 代表者は |
| | | 男 女 | 個人会員 団体会員 準会員 |
| 住所 | 〒 - | | |
| | 府県 | | |
| 電話・FAX | - - | FAX | |
| 携帯・Email | - - | E-mail | |

| | | | |
|-----------------------|---------------------------------|--|--|
| 振込金額 | 入会金(初回のみ) 1,000円 / 年会費 円 / 合計 円 | | |
| 団体人数 | 人 | | |
| (ふりがな) 会員氏名 | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| (欄が 足りなければ 別紙へ) | (入会金・年会費 振込票のコピー) 貼 付 | | |

西日本ハーモニカコンテストのご案内

事業部長 梁木進

二年毎に実施しております西日本ハーモニカコンテストは、第12回目を下記の通り実施いたします。どうぞ奮ってご応募ください。

名 称：第12回西日本ハーモニカコンテスト

主 催：関西ハーモニカ連盟

実施日：2018年8月5日(日)(応募：2018年4月1日～4月30日)

会 場：サンスクエア堺(大阪府堺市 JR堺市駅から徒歩5分)

西日本に居住の方は会員、非会員を、問いません。西日本以外の方も関西ハーモニカ連盟の会員に登録していただければ応募できます。全ての部門に録音試験による予備審査があります。日頃の練習の成果を試すチャンスです! できるだけ多くの方々にチャレンジしていただきたいとの思いから、新しい部門も設けました。申込書及び応募詳細はこの会報に同封の「募集要項」をご覧ください。

事務局だより

事務局 角野まゆみ

2017年第6回常任理事会報告

1 日時 2017年8月28日(月)午後6時より

2 場所 ふんふんざろん

3 議題 ①事業部 国民文化祭・ならハモ祭り等予算について

交流旅行について

②会計部 国民文化祭・ならハモ祭り等予算について

交流旅行予算について

③組織部 会員動向について

④研修部 研修会申し込み状況について

⑤事務局 来年度役員異動について

③組織部 会員動向について

④研修部 研修会申し込み状況について

⑤事務局 2018年定時総会 議案・役員改選について

2017年第8回常任理事会報告

1 日時 2017年10月16日(月)午後6時より

2 場所 ふんふんざろん

3 議題 ①事業部 国民文化祭・ならハモ祭り報告
西日本ハーモニカコンテストについて

②会計部 国民文化祭・ならハモ祭り仮決算について

2017年度決算見込みについて

③編集局 会報バックナンバーについて

連盟ホームページ閲覧について

④組織部 会員証廃止について

⑤研修部 研修会申し込み状況について

⑥事務局 2018年定時総会 議案・役員改選について

2017年第7回常任理事会報告

1 日時 2017年9月25日(月)午後6時より

2 場所 ふんふんざろん

3 議題 ①事業部 国民文化祭・ならハモ祭り等について

交流旅行収支報告

②会計部 今年度の予算について

「国文祭・障文祭なら 2017」 & 「ハーモニカ祭り」 成功裡に終了

事業部長補佐 鐘ヶ江義行



9月2日、東大寺において、皇太子・同妃両殿下ご臨席のもとに開会された「第32回国民文化祭なら2017(国文祭)」「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会(障文祭)」は11月30日に閉会されました。県内各地でさまざまな文化芸術イベントが開催されましたが、「ハーモニカ祭り」も二日間にわたり「なら100年会館」で開かれ無事に終了することが出来ました。出演団体89組、演奏者560人、延べ観客数は1,100余と例年にない大規模なハーモニカ祭りを開催することが出来ました。「第28回関西ハーモニカ祭り(関西ハモ祭り)」の出演条件は、例年と異なる限定的なものになりました。このような状況にもかかわらず、関西ハモ祭りを成功裡に実施できましたのは、連盟会員皆様のご理解・ご支援によるものであり、深く感謝し、御礼を申し上げます。



国文祭におけるハーモニカ祭りは、三部構成の事業としました。第一が関西ハモ祭り、第二が全国ハーモニカ愛好者による演奏会(全国公募コンサート)、第三がゲストアーティストによる夢のコンサート(夢のコンサート)でした。

関西ハモ祭りは、10月7日(土)の10:00～16:00に実施、53団体(組)、延べ演奏者数316でした。演奏曲は唱歌・クラシック・歌謡曲をはじめとして種々の分野にわたりました。各団体(組)は、普段の練習成果を発揮され楽しい演奏会となりました。特に、バックスクリーンに歌詞が投影されると会場の皆様が唱和して下さり、演奏者と観客とが一体化して、和気あいあいの雰囲気醸し出されました。



全国公募コンサートは10月8日(日)10:00～12:40に実施され、26団体(組)、延べ演奏者数は173になりました。プログラムならびに演奏曲は、国文祭ハモ祭りの4テーマ即ち、①日本文化の源流を探る。②文化の今を楽しむ。③文化芸術立国の礎を築く。④障害のある人とない人の絆を強く。に沿って、しっかり編成致しました。

観客の方からは、「ハーモニカソロだけでなく、デュエット、トリオ、カルテット、クインテット、ピアノ伴奏でのオシドリ演奏、大アンサンブル演奏等々を始めて経験した」「全国から公募された方々の演奏を聞いて良かった」等の声を耳にすることができました。



夢のコンサートは10月8日(日)15:00～18:30に実施、10団体(組)、演奏者は計71人でした。このコンサートには、奈良市議会副議長の三浦教次様のご来聴、奈良市市民活動部参事の園部龍弥様から奈良市長仲川元庸様の祝辞を代読いただきました。

プロの方々の演奏曲は唱歌・クラシック・歌謡曲をはじめとして、高度な奏法を含んだ演奏でした。観客の皆様から、演奏後、大きな拍手が沸き起こりました。特に、あつぎグランドハーモニカア



ンサンプルによるサラサーテの「チゴイネルワイゼン」の演奏は圧巻でした。哀愁に満ちた旋律をオーケストラ形態の重厚な調べで、急速なテンポで奔走華麗な旋律をソロ演奏で観客の方々はその演奏に聞き惚られました。ハーモニカ主体でオーケストラ形態の演奏会は、近畿圏で初めてハーモニカ文化の発信を試みることができました。

第32回国民文化祭・なら2017のプレイベントが、2017年6月17日(土)に、はぐくみセンター(JR奈良駅南口)で開催されました。本プレイベントには、奈良市の依頼を受けて、ハーモニカアン

サンプルポコ・ア・ポコさんが出演されました。「さんぼ」、「ザ・サウンド・オブ・ミュージックメドレー」等を熱演され、会場の約150名から、盛大な拍手を受けられました。国文祭ハモ祭りのPR、有難うございました。

なら100年会館中ホールは、階段の多い構造になっていました。会場の静寂性を確保するために、通路の一部を通行禁止にいたしました。出演



者の方々には、移動するために、手荷物を持ちながら、階段を何度も上ったり、下ったりして頂く状況になりました。階段が少なく、エレベータやエスカレータ等機械力を導入されている会場を利用することが今後の課題となりました。

連盟会員の皆様におかれましては、国文祭ハモ祭りを十分に堪能いただいたことと思います。今回の国文祭ハモ祭りを皆様の明日からのハーモニカ練習の糧にして頂けましたら、非常に光栄です。

国文祭ハモ祭りを計画通り進行させるため裏方に徹して頂きましたスタッフの皆様及び、設備運用関係者の方々に感謝いたします。大変有難うございました。



宮崎ハーモニカ愛好会 & 関西ハーモニカ連盟 交流旅行 報告

事業部長 梁木 進



2年に一度行われる交流旅行は本年度で7回目、今回は九州の宮崎でした。10年前には大分へ行きましたので九州旅行は2度目、前回同様今回もフェリーでの出発です。参加者は、韓国釜山からの3名を含めて総勢30名でした。

台風18号が沖縄に上陸し明日にも九州直撃の状況の中で9月15日(金)17:30神戸三宮フェリーターミナルに集合し19:30発の“さんふらわあ”で出航しました。宮崎へ向かうフェリーの中は楽しく、幸い台風の影響もなく和気あいあい楽しい時間を過ごし、2段ベッド8人部屋に4~5人ずつで朝を迎えました。

翌朝宮崎港に8:40到着。雨風の荒れた天気でしたがタクシーで演奏会場に向かいました。メデイキット県民センターでは宮崎ハーモニカ愛好会の作田嘉余子会長始め皆さんが着々と演奏会の準備に追われながらも我々を暖かく出迎えてくれました。この日のために色々準備、配慮をいただき、本当にありがとうございました。韓国からの3名と大阪から飛行機での1名も無事に合流できました。

外はおそらく台風の影響で荒れた天気でしたしょうが会場内はまるで別世界でした。愛好会と連盟、お互いに讃えながら精一杯演奏し、会場はとても盛り上がりました。とりは艶やかな振袖姿の作田さん「城ヶ島の雨」。美しい調べが会場を包みこみました。予定通りに演奏会は終了し、再びタクシーで今度は宮崎観光ホテルへの移動です。

18:00からの親睦会には宮崎の6名も参加されました。あまりにも楽しい宴会だったので外の台風も忘れてしまいました。ホテルでは、一人一部屋割り当てられました。洋室の部屋には大きなベッドが二つ、和室の部屋は8畳や10畳の部屋もあり、そこも一人です。こんな贅沢な旅行は今までにあっただでしょうか。

さて、17日の朝が大変でした。台風がこれから



九州に上陸との予報。その日予定していた高千穂へのバス旅行は勿論中止、それどころか暴風雨でホテルから出られません。フェリー欠航、新幹線もストップで帰る手段がなく、延泊するほかありませんでした。幹事役の私は情報収集の為電話をかけまくる、一方で参加者の皆さんもさすが長年人生を経験してきているだけにみんなで協力して知恵を出しあってくれました。この日はホテルで吹きまくりをしたり、日ごろの情報交換をしたりと、災難にもかかわらず楽しく工夫をして、みんなで乗り切ってくれました。韓国の方は幸いにもこの日遅い便が

とれて、一足早く飛行機で帰国されました。

私たちは予定より一日長い旅行日程となりましたが、翌朝には台風も去り、新幹線で帰る人、フェリーで帰る人に分かれて、18日(月)朝、ホテルでの解散となりました。台風が心配で旅行取り止めも考えられる状況の中、皆さんが予定通り参加してくれたことを感謝します。大変思い出深い忘れられない旅行となりました。



2018 年度 研修会のご案内

研修部長 小林由美子

2018 年度も下記の内容で研修会を実施いたします。皆さん、奮って参加くださいますようご案内いたします。

会 場：愛日会館
大阪市中央区本町 4-7-11
電話 06-6264-4100

研修時間：毎回 14:00~16:30

参加費：会場にてお支払い下さい。

会員 1,500 円、非会員 2500 円

人 数：88 名（先着順、予約が必要です）

申込先：丸山茂生

TEL/FAX 072-793-7164

第 1 回

<日 程> 5 月 13 日（日）

<講 師> 水野隆元

（複音ハーモニカ奏者）

<内 容>

テーマ：楽譜のパラメーターを読んで音形を変え、自分だけの個性的な演奏をつくらう！

<持参していただくハーモニカ>

C、C#、Am

<講師プロフィール>

ハーモニカを岩崎重昭氏に師事。

音楽全般を甲賀一宏氏に師事。

F.I.H. JAPAN（世界ハーモニカ連盟日本支部 1991）、アジア・太平洋ハーモニカフェスティバル（台湾・1996）、F.I.H. 世界ハーモニカ・コンテスト（ドイツ・1997）、全ての大会において複音ハーモニカソロ部門第一位。

DAAD（ドイツ学術交流会）の給費奨学生としてドイツで音楽学を専攻。

慶應義塾大学大学院にてコンピューター・ミュージックを学び、新しい音楽の形を模索。現在、作曲家と共に、複音ハーモニカのオリジナル曲を残すことを目的に活動中。

日本ハーモニカ芸術協会師範
複音ハーモニカコンクール審査員
グレード審査委員

F.I.H. JAPAN ハーモニカ・コンテスト審査員

西日本ハーモニカ・コンテスト審査員

F.I.H. 世界ハーモニカ・コンテスト審査員

第 2 回

<日 程> 7 月 15 日（日）

<講 師> 調整中

第 3 回

<日 程> 11 月 11 日（日）

<講 師> 調整中

- * 会場・時間・人数・申込先は昨年と同じです。
- * 定員を超えた場合は、参加をお断りすることになりますので早めに申し込み願います。なお、当日のキャンセルについては運営の都合上、会費をいただきますのでご了承ください。
- * 申し込みは、第一回研修会のみでお願いします。第二回、第三回の申し込みは 4 月号のハーモニャでご案内させていただきます。



関西ハーマニカ連盟 研修会申込書(個人)

(会員番号) _____ (氏名) _____

(連絡先電話) _____ () _____

(第1回) 研修会に参加する。

関西ハーマニカ連盟 研修会申込書(団体)

(団体番号) _____ (教室：サークル名) _____

(代表者名) _____

(連絡先電話) _____ () _____

(第1回) 研修会に参加する。

(団体会員氏名欄) 参加者計 人

2017年度第3回研修会 「力まず正しいテクニックを！」3穴・5穴・ベース編

角野まゆみ



平成29年9月3日(日)第3回研修会が愛日会館で行われました。

講師の楠光恵先生は昨年、連盟合宿交流会の講師にお迎えして以来2度目の来阪となり、会場は満席でした。

日頃私たちがハーモニカを吹く「当たり前」の動作に意識を向けて正しく身に付くよう、わかりやすい講義が始まりました。

★C調の音配列表を数字譜で書く

吹吸交互の配列になっている為、低音・高音部の音の並びが違っている。音の移動や奏法を吹く上で音配列を頭の中で書き記せるよう身に付けておくと困らない。

★C調のハーモニカを温める

自分の体温(手)で温める習慣をつける。冷たい楽器に人間の温かい息を入れると、リードに結露のような状態が生じトレモロに多少の影響が出る。

★こまめな水分の補給をする

さらさらな唾液が出るのでハーモニカの手入れも楽になる。水分とは「水」または「砂糖の入っていないお茶」。

★ウォーミングアップ 3オクターブ吹く

21穴すべての音を出す。きれいな音になる息の量を自分の耳で確かめながら吹いていく。リードを振るわせる息の量を意識する。音の移動は楽器を横に動かす。試し吹きはしない。一発勝負で臨む。最初の音の位置は手の感覚で覚える。

★ハーモニカの持ち方

音の出るところ(吹き口と反対側の隙間)は指でふさがらない。1本の時、カバーのねじの部分をお指と人差し指でつまむようにして持ち、中指の側面で後ろの黒い部分を支えて持つと、手に力が入らず又両端の音も吹きやすい。顔は動かさず楽器を口元に持っていく。決して顔から楽器に近寄らないこと。上下の吹き口へ均等にそして楽器に負担のない息を入れて、丁度良い自分の音色をチェックする。力を入れるのは下腹のみ。お腹からしっかり息を出す。肩・首が痛い、唇を切った…はどこかに力が入っている。

★口の形

口の形は普段の口の形からそれぞれの奏法によって(「ほ・い・へ・糸」の口)唇を横に広げて、楽器に唇を軽く当てる。鏡を見ながら口元を見る。ハーモニカは深くくわえない。大ベース・オクター



ブ奏法のくわえ方として、カバーの真ん中あたりに唇の跡がつくくらいが丁度よい。但し、人それぞれあごの形や口の形が違うので絶対ではない。

★3穴・5穴

3穴は「ほ」5穴は「い」の口。メロディが必ず唇の右端にあることを意識して楽器を動かす。唇の周りに力が入らないように吹く。3穴と5穴との音の響きの違いを聞き分ける。同じ音が続くときは吹き分ける。

★ベース

ベースにもリズムがある、又和音を鳴らす意味もある。各々のリズムの長さ分、舌を離してベースを入れる。舌を離した後は必ずその音が鳴っている間に舌をあててメロディを残す。決して舌は離しっ放しにはしない。(但し、開放ベースは別)。

舌を当てたり離れたときに楽器が動く又はメロディが揺れるのは、舌を押し当て過ぎている。押すのではなく当てるだけ。メロディがきれいに聞こえた上でベースを鳴らす。

通常自分がどのような口の形で吹いているか知っておくと、ベースが入って同じ奏法が続くときは口の形を変えなくて吹くのでスムーズにいく。

等々「楽譜を正しく読む、譜読みをしっかりする習慣をつける。自分の音をよく聞くこと。そしていづれも自分がいいなと思ったら取り入れる。自分のスタイルに合った演奏をしていくことを勧めます。音を楽しみましょう」の言葉で講習を終えました。



吹けば音が鳴る、音が出るのが当たり前とっていました。しかし、○ハーモニカの音色は自分で作っていく。○自分がきれいと思う音を息の量で調整していく。○ベースにもリズムがあり、四分音符ならば四分音符分のベースの長さがある等、初めて知りました。或いは改めて気づいたという声がかしこで聞こえてきました。

正しいテクニックを身に付けることが上達への近道なのはとても理解できました。「無意識の動作と音出し」からの脱出を力まずにはじめて行こうと思う、あっという間の2時間半でした。

最後に「荒城の月」幻想的変奏曲を演奏され、澄んだ曇りのない音色に一同聴き入りました。



アンケートの感想(研修部)

- ・ベースにリズムがあるとは知らなかった
- ・ベース奏法のベースの長さの説明が分かりやすかった
- ・説明は丁寧でよかった
- ・ベース、5穴、3穴奏法が分かりやすかった
- ・基礎勉強が大切だと感じた
- ・とても美しい音色で演奏されて感動した
- ・マイクをしっかり使われて、はっきり聞こえて良かった
- ・若い方がもっと参加されたら良いと思う
- ・今後の研修会テーマとして、トリオ、カルテット等のグループ編成に合わせた編曲の話などを聞きたい



☆☆ ハーモニカ カレンダー ☆☆

2017年11月15日現在 関西ハーモニカ連盟 編集局



| 日 時 | 演奏会及び演奏者名(敬称は略) | 会場・お問い合わせ先 |
|---------------------------------|---------------------------------------|--|
| 11月20日(月) | 連盟常任理事会 | ふんふんさろん |
| 11月23日(月祝) | 吉村則次演奏 | 大阪市住吉区 阿弥陀寺 |
| 12月 3日(日) 10:00~12:00 | 梁木進「野花」特別講習会【WEB】 | ふんふんさろん 3,000円 【問】H企画梁木 |
| 12月3日(日) 13:00~17:00 | 梁木進 個人レッスン【WEB】 | ふんふんさろん 3,000円 【問】H企画梁木 |
| 12月10日(日) 10:00~ | 寺村安雄合同ハーモニカクラブ クリスマスコンサート | 南海北野田駅前 堺市東文化会館 |
| 12月10日(日) 12:00~ | もり・けん&タンタナクイ(フォルクローレ) ランチコンサート | 太閤園 8,000円 【問】もり・けんプランニング |
| 12月16日(土) 12:30~17:00 | 梁木進 複音ハーモニカ公開講座【WEB】 | 新大阪ココプラザ 1,000円 【問】H企画梁木 |
| 12月23日(土) 9:00~ | お笑い神事 もり・けん童謡奉納 | 枚岡神社(近鉄奈良線枚岡駅) 参加無料 【問】もり・けんプランニング |
| 12月24日(日) 13:00~ | 梁木進主催 クリスマス・ハデコン・コンサート【WEB】(チラシ同封) | 新大阪ココプラザ2F(ココエクスプレス) チケット1,000円【問】H企画梁木 |
| 2018年 | | |
| 1月 7日(日) 13:00~17:00 | 梁木進 個人レッスン【WEB】 | ふんふんさろん 3,000円 【問】H企画梁木 |
| 1月8日(月祝) 12:30~17:00 | 梁木進 複音ハーモニカ公開講座【WEB】 | 新大阪ココプラザ 1,000円 【問】H企画梁木 |
| 1月13日(土) 14日(日) 13:30~ | 竹内海人クロマチックコンサート | 宇治市 ふりーすぱーす宇治日和 2,000円(要予約) 【問】木原 0774-23-6631 |
| 1月15日(月) | 連盟常任理事会 | ふんふんさろん |
| 1月20日(土) | あつぎハーモニカコンサート | 神奈川県厚木市 厚木市文化会館 |
| 1月21日(日) 13:00~15:00 | 梁木進 ハーモニカ吹きまくり大会 クロマチックの方もどうぞ【WEB】 | ふんふんさろん 演奏者1,000円 【問】H企画梁木 |
| 1月28日(日) 12:30~17:00 | 梁木進 複音ハーモニカ公開講座【WEB】 | 新大阪ココプラザ 1,000円 【問】H企画梁木 |
| 2月 4日(日) 13:00~17:00 | 梁木進 個人レッスン | ふんふんさろん 3,000円 【問】H企画梁木 |
| 2月11日(日祝) | 関西ハーモニカ連盟定時総会 (P2参照) | 大阪市西区 徐園 |
| 2月25日(日) 12:30~ | 梁木進 複音ハーモニカ公開講座 | 新大阪ココプラザ 1,000円 【問】H企画梁木 |
| 3月 4日(日) | 堺市北区公民館祭り 堺ハーモニカアンサンブル出演 | 【問】吉村則次 |



| 日 時 | 演奏会及び演奏者名(敬称は略) | 会場・お問い合わせ先 |
|-------------------------|---|---|
| 3月11日(日) 13:00～17:00 | 第12回ハーモニカの集い (複音ハーモニカ吹きまくり会改め) | 宇治市 ふりーすぱーす宇治日和 入場無料 出演 500円 【問】木原 0774-23-6631 |
| 3月19日(月) | 連盟常任理事会 | ふんふんさろん |
| 4月1日(日) | ココプラザ公開講座 定期演奏会 | 新大阪ココプラザ 入場無料 【問】H企画梁木 |
| 4月8日(日) | 第19回ハモニ館まつり | 新大阪ココプラザ |
| 4月15日(日) 13:00～15:00 | 寺村安雄 複音ハーモニカ講習会 (2017/10/29 台風による延期) | 愛日会館 2,000円 【問】寺村安雄 |
| 4月16日(月) | 連盟常任理事会 | ふんふんさろん |
| 5月6日(日) 11:00～17:00 | 梁木教室合同コンサート | 大阪狭山さやかホール・入場無料 【問】H企画梁木 |
| 5月13日(日) | 連盟主催 第1回研修会(P12参照) | 愛日会館 |
| 5月19日(土) | もり・けん&時田直也(ピアノ)コンサート | 堂島 中央電気倶楽部 【問】もり・けんプランニング |
| 7月1日(日) | 日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会コンサート | 大津市民会館 |
| 7月1日(日) | 童謡100年記念コンサート | 堂島 エルセラーンホール 【問】もり・けんプランニング |
| 7月15日(日) | 連盟主催 第2回研修会 | 愛日会館 |
| 8月5日(日) | 連盟主催 西日本ハーモニカコンテスト (募集要項 同封) | 堺市 サンスクエア堺 |
| 9月15日(土) 16日(日) | 連盟主催 合宿交流会 | 新大阪ココプラザ |
| 9月29日(土) 30日(日) | 連盟主催 第29回関西ハーモニカ祭り | 堺市 サンスクエア堺 |
| 11月11日(日) | 連盟主催 第3回研修会 | 愛日会館 |

過去のイベントはホームページの『会報バック No 目次』をご覧ください。

<http://harmonika-renmei.studio-web.net/>

【問】：問い合わせ先 【WEB】：WEBのカレンダーに案内詳細をリンクしています。

●問合せ先(順不同)

徳永延生.....06-6934-7266
 事業部梁木進, H企画梁木.....072-284-8808 090-8655-6045
 ハモニ館 吹上晴彦.....0798-22-1844(FAX 共通)
 寺村安雄.....072-297-5737(FAX 共通) 090-9092-8814
 吉村則次.....072-251-9398
 もり・けんプランニング.....090-1485-6877 (東)
 ふんふんさろん.....06-6352-8005 FAX 06-6353-1393

感想文「第32回国民文化祭なら」

2017年10月7・8日の両日にわたり「第32回国民文化祭なら」における奈良市のイベントとしての「ハーモニカ祭り」は天候にも恵まれ、事故もなく無事に終了できました。出演感想文の中から2件を紹介させていただきます。(編集局)

1. あつぎハーモニカ協会(AHA)様

AHA広報部様の了解を得て、ホームページから引用させて頂きました。ありがとうございました。

奈良国民文化祭報告

やまとはくにのまほろば たたなづくあおがき やまこもれる やまとしうるわし
古事記に出てくるヤマトタケルの和歌。

歴史の重みのある奈良での国民文化祭、そのイベントの一つに参加させていただきました。
グランドアンサンブル、総勢54名。

そして厚木の誇るプロの皆様の演奏は、奈良のお客様に満足していただけたでしょうか。
ホール客席は2日間で完売だったと伺いました。

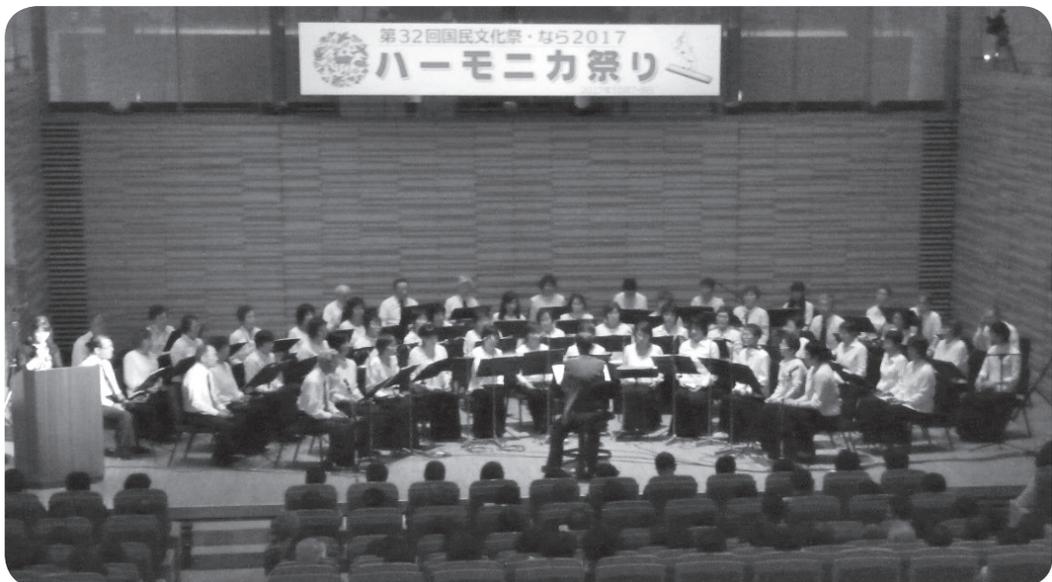
入れなかったお客様や、私たちグランドのみんなも、演奏後は小ホールに映し出される映像で楽しませていただきました。

関西ハーモニカ連盟の皆様には大変お世話になりました。

終了後の懇親会までセットしていただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

翌日はそれぞれグループで、また個人で、飛鳥時代に思いをはせながら、ゆっくり奈良の街を堪能させていただき、帰りの新幹線はほっとした思いの仲間の会話がとても楽しい二日間でした。

準備に携われた関係者の皆様に、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。



2. ハーモニカアンサンブル生駒

「ハーモニカアンサンブル生駒」は第24回国民文化祭しずおか2009に引き続き2回目の国文祭参加です。前は奈良県代表として選ばれ21名で浜松の地を踏み、3曲演奏されました。今回は「地元奈良のグループとして恥ずかしくない演奏をしなければ」とのプレッシャーが大きかったそうです。出場直後の生々しい感想を紹介します。

「諦めない」

宮内和恵

ビッグ・チャンスがやってきた。国民文化祭に出場するのです。曲は「真珠採りのタンゴ」指揮はもちろん時田泰子さん。

#つき八分音譜が三小節 #つき十六分音譜が三小節 ここが難関です。「上手な人だけに任せれば良い。」との強い意見がありました。でも指揮者は「全員の演奏」を主張しました。パート練習を繰り返し、録音を何度もチェックしました。

9月になっても揃いません。「ダメか・・・」と、心が折れそうになった時、5回の内1回、3回の内2回と、揃いできました。どんなに指揮者が胸を撫で下ろしたことでしょう。

舞台の前日、グリッサンド・ハーモニカを吹く会長が熱と咳でダウンしました。でも「大丈夫、心配せんとき」と慰めました。そして大舞台を終えましたが、演奏を聞いてくださった皆様、いかがでしたでしょうか。個性的なメンバーが、心一つにしてタンゴを演奏しました。諦めなかった私たちは、ハーモニカアンサンブルの「真珠」をまた一つ手に入れました。

すばらしいリズムを刻んだバス、コード。指揮の優雅な手。練習の鬼となり「もう一回!」を何度も繰り返したパート・リーダー。的確なアドバイスを下さった村上先生。ありがとうございました。



ハーモニカの音色 優雅に
愛好者ら、普及促進へ演奏

なら100年会館でイベント

ハーモニカ愛好者が一堂（ト）も開かれ、会場は優雅に会し、楽器の普及促進をな音色に包まれた。図る「ハーモニカ祭」が祭。同連盟の梁木進副理事長、長市のなら100年会館で（68）は、この演奏会がハー開かれ、観客らは美しいハーモニカの音色に酔いしれ、うきうきにならば、これい。演奏を披露した兵衛、関西ハーモニカ連盟などが主催。県内外から公募で集まったハーモニカ奏者約170人が、海外の民謡や「ディズニーマドレー」など多彩なジャンルの曲をアンサンブルなどで披露。また、プロ奏者によるコンサ

愛好者らが集った「ハーモニカ祭」。会場は優雅な音色に包まれた

2017年10月17日 産経新聞記事

「株式会社トンボ楽器製作所 創立百周年記念式典」に参加して

関西ハーモニカ連盟理事長 吹上晴彦



株式会社トンボ楽器製作所が楽器メーカーとして100年間、企業継続されていることに敬意を表します。

私は、何よりも永年にわたりトンボ楽器製作所のハーモニカを使っていることに誇りを感じ、今回の百周年記念は我がことのように喜ばしく思います。また、平素は、当連盟にも多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当日10月20日は、400人近い出席者で会場が熱く、盛り上がっていました。お祝いのビデオレターは、ゆずや八木のぶおさんら多くのミュージシャンからのメッセージが映し出され、とりは長瀬剛さんのブルースハーブでまとめられていました。

引き続き、祝辞の後、挨拶に立たれた真野照久社長のお話を聴き、株式会社トンボ楽器製作所がなぜ老舗の域に入ったのかが分かりました。

ハーモニカ・アコーディオンに特化した企業、物売りではなく、目先にとらわれないで、長い目で見る。多面的にみる企業性、枝葉末節に囚われることなく、音楽を根本的に考える。

社員の一人一人がミュージシャンで音楽が好き、「音楽を楽しむ」という事を忘れず、人々の人生を豊かにする企業であり続けたい」との言葉でした。

会場は、日本を代表するハーモニカ奏者で埋め尽くされ、一斉に乾杯がされました。私の左隣席は当連盟のコンテスト審査員をお願いしている水野隆元先生のお母様水野千賀子様、研修会講師

に来ていただいた水野先生と飲み明かした時のお話など、また右隣席は中部ハーモニカ連盟の岩田洋会長、連盟創設40周年を同じ年に迎える話で歓談しました。

ゲスト演奏は斎藤寿孝先生はじめ、アコーディオンのc o b aさん、10ホールズのリー・オスカーさんでした。c o b aさんのMCでは、世界チャンピオンになり、海外から戻り10年間真野泰治会長のサポートがあったから今があるというエピソード。真野会長の情の厚い、温かい人柄をうかがわせるMC、演奏の余韻に浸りながら100周年記念10ホールズを記念品にいただき帰路につきました。

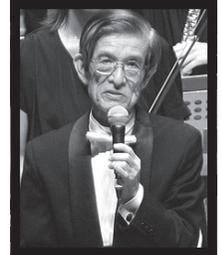
当連盟の活動をもって、株式会社トンボ楽器製作所さんと連携し、お互いの関係をさらに深めたいものです。百周年おめでとうございます。そして、ありがとうございました。



(写真は株式会社トンボ製作所様からご提供いただきました。編集室)

甲賀一宏先生 天国へ

甲賀一宏先生が平成29年10月18日にご逝去されました。通夜は10月21日に、告別式は10月22日に執り行われました。長きに亘って舞台上で指揮を執ってこられ、ハーモニカ界にも多大の功績を残され、最後は自らが考えるままに80歳の人生の幕を閉じられたように思われます。謹んでご冥福をお祈り致します。なら100年会館で指揮されたお姿を長く記憶に留めたいと思います。村上博昭事務局長より「偲ぶことば」を頂戴しました。(編集局)



甲賀一宏先生のご冥福をお祈りいたします

関西ハーモニカ連盟事務局長 村上博昭

2017年10月8日(日)、国民文化祭奈良・ハーモニカ祭りのメインゲストとして、あつぎグランドハーモニカアンサンブルが素晴らしい演奏をして観客を魅了した。指揮はもちろん甲賀先生である。

次のプログラムは先生のソロ3曲であるが体調不良のため2曲に変更され「荒城の月『幻想的変奏曲』」と『南部牛追い唄』による詩曲を演奏された。私は舞台裏下手で聞いていた「が・おかしい!」いつもの先生の迫力がない? 隣でモニターに見入る厚木の方に思わず囁いた。

演奏後約30分経過した時、奥様に先生の様子を尋ねたところ「控室で横になっています」と言われた。しかし、演奏会後の懇親会には出席されたので、少し安心し、国民文化祭奈良盛況のお礼をしたのが最後となりました。10月21日お通夜の時、奥様と立ち話をした。「もともと身体は悪いところがありましたが、奈良に行かねばと頑張ってきました」と言われ、胸に込み上げるものを感じました。先生との出会いは、日本ハーモニカ芸術協会師範試験に不合格が続いた時、岩崎先生から「師範の試験は音楽専門家の人も審査するので、音楽的演奏も大切だよ」と言われた後の総会でした。かなり厳しい人かなと思ったのが初印象です。

日本ハーモニカ芸術協会の改革

2012年私が同協会常任理事に推薦された時の会長が甲賀先生でした。私は地方出身者として、協会の収支構造の見直し提言、研修会・グレード試験の地方展開、口琴芸術へ地方の記事掲載等を矢継ぎ早にお願いした。そして実行して頂いた。もちろん、実行されたのは素晴らしい局長さん達だが、基本はしっかり定め、実行は各局長に任すという先生の強いバックアップがあったからだと思います。

研修会DVDはハーモニカ業界の至宝

過去の岩崎先生、間中先生は編曲集・CDでハーモニカ界を支え発展させてこられました。甲賀先生にも是非編曲集を出してほしいとお願いしていた。それがハーモニカ界発展への道であると信じていた。そして前任者に匹敵する素晴らしいものを残していただいたことに気づいた。研修会のDVDである。百聞は一見に如かずとか、ハーモニカ界に一番欲しいと思っていた音楽性の伴った演奏に関する研修会DVDは正に至宝だと思う。

まだまだ先生にはいろいろ教えて頂きたい思いがあり残念です。きっと天国で岩崎先生や平井先生と“厚木神聖トリオ”を組まれて楽しめることと思います。ご冥福を心からお祈り申し上げます。

編曲できることは素晴らしい ハモニ館、夏の終わりのハーモニカ・コンサート

吉村則次

2017年8月20日(日)、尼崎市の八角形のアルカイク・オクト(オクトは8の意味)で、「デュオ・ユットラ、THE Hom β、アンサンブル・ハモニ館による Late Summer Concert」が開催された。コンサートの名称に関わらず、夏の終わりは全く感じられない、真夏であった。

前売り2,000円にもかかわらず、両横及びステージの前を除き、ほぼ満員であった。人気が伺える。他のハーモニカ団体のコンサートには見られない、素晴らしいコンサートであった。このようなコンサートが出来上がったのは、次のような理由によるものと考えられる。

1. 主宰者の小林由美子さんが、編曲ができる方であり、フレーズごとに異なった楽器への割り当てがされており、うまく出来ていた。うらやましい限りである。
2. 楽器構成が、①複音、②オクターブ、③クロマチック、ホルン(④アルトと⑤ソプラノ)、⑥コード、⑦バスと豊富。更にドラムス、マリンバ、木魚等の打楽器が加わっており、豊かな音色とリズムを作り上げている。小林由美子さんが、打楽器の専門でもあることによるものであろう。
3. 二人のクロマチック奏者がおられ、比較的難しいパッセージを受け持たせていた。複音では、速いパッセージが難しい場合があり、こうはいかなかったはず。クロマチック二人も、ユニゾンで吹かず、一人一人異なるものを出していることがあった。
4. マイクを18本全員に1本ずつ与えていた。多くのハーモニカ・コンサートの場合、大きなアンサンブルで一人に一本ということは少ない。
5. マイクと楽器の距離をすべてそろえており、音量がそろっていた。バス、コードにも「マイク内臓」を使っていなかったのが、世間によくある「バスが大き過ぎた」ということがなかった。
6. これらの、編曲(と楽器の割り当て)の良さ、セッティングの良さ、も当然であるが、演奏者がそれぞれが有能であったことが、成功の大きな要因であったと思われた。

(写真撮影：主催者ハモニ館)



「デュオ・ユットラ THE Hom β アンサンブル・ハモニ館」 リサイタル御礼

ハモニ館 吹上晴彦

「LATE SUMMER CONCERT」と題して、去る2017（平成29）年8月20日、あましんアルカイックホール・オクトにて開催いたしました。この「夏の終わりのハーモニカコンサート」におきまして、暑い中、多くの方にご来場いただき、誠にありがとうございました。

2回目ですが、出来上がったDVDを見ますと、こうすれば良かったと、いつもながら内容には課題を残してのコンサートでした。

今回は、内外部ともに多くの問題を抱えつつ、メンバーの一人が入院加療という事態の中、開催いたしました。しかし、今回も皆さまに助けられて開催、おかげさまで、盛会裡に終えることができ、出演者一同、心より感謝いたしております。

演奏はもとより、運営面も含め、もう一度みなさまに聴いていただける日を持てるよう努力する所存でございます。今後とも、よろしくご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



「第2回ハーモニカ基礎特別講座」を受講して

中崎利枝子

2016年5月から2017年9月まで、月一回「ふんぶんさん」にて、日本ハーモニカ芸術協会グレード取得のための「ハーモニカ演奏基礎特別講座」を受講しました。講師は当連盟副理事長で、日本ハーモニカ芸術協会理事の村上博昭先生。

佐藤秀廊先生の教本を主なテキストとして、初級から研究科までを勉強しました。先生が工夫されて描かれたハーモニカと舌の絵を使って、いろいろな奏法を詳しく説明していただきました。またリズムの取り方も先生が研究して身に付けられた練習方法を教えて下さり、とても分かりやすかったです。そして演奏に際しては、フレーズの取り方が何よりも大切であることを何度も話されて、肝に銘じました。

時に厳しく、恥をかく覚悟が必要なこともありましたが、だんだん行くのが楽しみになりました。一人ずつ演奏して、聴いていただく時には大変緊張し、他の方の演奏時には感想を求められるので、一音一音聴き逃すまいと真剣になりました。

回を重ねる度に、一人ひとりの演奏技術が上達し、それぞれの頑張りを感じられて、大きな励みになりました。仲間意識も出来てきて、1年7か月間の講座が終わる頃には、まだまだ続けばいいのになあと思うようになっていました。

講座最終日は、村上博昭先生編曲のNHK連続テレビ小説「ひよっこ」の主題歌「若い広場」をみんなで合奏して、名残りを惜しみました。

羽畑久美子

「あっ」という間に終了！ 苦しかったけれど楽しかった一年でした。一ヶ月に一度の研修日はすぐにやってきます。いつも練習不足やなあと思いつながら、早朝、和歌山から電車でゆられて通いました。何も知らない未熟生を受け入れて下さった村上博昭先生、そして肩を一押ししてこの機会を与えてくれた先輩に感謝です。

毎回、先生の解かりやすいユーモアを交えた解説に「な～るほど」と納得、「目からうろこ」でした。

でも悪い癖はなかなか直りません。とにかく、してはいけない事ばかり。ハーモニカの持ち方から始まり、呼吸法、姿勢、舌の位置、口の開き方等々、より良い方法の熱心なご指導をいただきました。

おかげで、少しずつ良くなってきていると思いますが、今やっとスタートラインたどり着けたかなあ。これからも基礎に戻って、繰り返し練習のみと日々心して頑張ります。

(写真提供：村上博昭先生)



世界ハーモニカ大会、日本は不調

吉村則次

今年（2017年）は、4年に1回開催される世界ハーモニカ大会の年に当たっており、11月1日から5日まで、ハーモニカの聖地である、ドイツのトロシingenにて開催されました。

私は、1993年から毎回、6回連続（24年間）参加しておりましたが、今年は残念ながら、都合により参加することができず、大会のホームページや参加した方からのインスタグラムやブログで状況をウォッチして、懐かしい景色等を楽しんでおりました。

世界大会に参加していた時には、大会の参加以外に、ヨーロッパを回れるという楽しみがあり、前回、2013年、岡直弥さんと後藤利一さんと訪ねたトロシingenの隣町の古いロットヴァイルは良かったな、チューリッヒの楽譜店で、偶然オランダのホス・ファン・デン・ダンゲンという方のCD伴奏付き楽譜を見つけたのは、本当にラッキーだったな（その後3冊も購入）、その前の2009年には、岡直弥さんの家族やTさんとライン川「昇り」をしたな、土曜日の午後、食べるものがなくて困ったな（パン屋もコンビニも休みにになります）というようなことが思い出されます。

古くはフランス東部の古い町コルマルやミュールーズ（鉄道博物館）にも立ち寄ったな・・・と思いが付帯して出て来ます。

今回は、クロマチック・クラシック66名、同ジャズ25名と、前回並みの参加者があった様子。驚きは、クロマチック・「ユース」の60名。詳細※は下記のとおり。日本からの出場者の上位入賞者名を、この会報でお知らせしようと思っておりました

が、残念ながら掲載すべきものはありませんでした。お知りになりたい方は whf-2017.de/ でご確認ください。

最近、日本のハーモニカは、アジア大会の様子も含めて、相対的に不振と感じており、我々は、関西のハーモニカがどういう状態かということは当然ですが、日本のハーモニカがどうなのか、ということにも思いをはせて、どうすべきかを考えなければならない、単に、高齢化だからどうしようもないと逃げないようにしなければならないと思います。

なお、トロシingenは、ホーナーの本拠地であり、1910年代に小林鶯声舎や高陽堂真野商会（トンボ）、ヤマハ等が国内でハーモニカを製造し始めるまでは、日本のハーモニカといえば複音を含め、トロシingenのホーナー及び周辺メスナー、コッホ、ワイス等のメーカー（一部ドイツ東部のサイドル社のものもあった様子が、前号に私が紹介した「ハーモニカをポケットに入れて・・・今は昔・・・」で伺える）で生産されたハーモニカを使っていたはずで、ハーモニカ愛好者は、クロマチック・複音に限らず、一度は訪れてみるべき地かと、思っています。

大会期間以外のほうが、いろいろ見られるし、また案内もしてくれるものと思います。大会に参加した方でも、ホーナー家のお墓、ワイスやコッホ、メスナー等が家内工業的にハーモニカを生産していた家などは、見ていない方が多いようです。ホーナー家が寄付をした建物やステンドグラス、ホーナーの名前の道路名等も、いろいろあります。

※コンテスト参加者

| <カテゴリー> | <参加者数> | <うち日本から> |
|-----------------|--------|----------------|
| クロマチック・ユース | 60 | なし、大部分が香港からでした |
| クロマチック・ソロ | 66 | 20 |
| クロマチック・ソロ 課題曲付き | 11 | 1 |
| クロマチック・ソロ・ジャズ | 25 | 4 |
| 複音 | 16 | 5 |

豊中ハーモニカアンサンブル

代表 満留興一

所在地 大阪府豊中市蛭池中町 3-2-1
ルシオーレビル 5F
蛭池公民館 練習室
連絡先 06-6855-4997

指導者 田口幸輝先生
練習日 第1・第3土曜日 13:30～15:30
会員数 女性7名 男性2名
年齢 60歳代～80歳代
連盟以外の活動

- ①年一回の公民館まつりに出演
- ②グループ発表会（田口教室）への参加
- ③地域の施設などでのボランティア演奏

豊中ハーモニカアンサンブルは、大阪国際空港（伊丹）に隣接する豊中市の蛭池公民館を拠点として活動しています。発足したのは1996（平成8）年に今の公民館ではありませんが、同じ市内の刀根山公民館主催の「春のハーモニカ入門講座」を履修したメンバーによって発足し、当時の講師は畑婦美子先生でした。現在は講師も田口幸輝先

生に代わり、メンバーも大方入れ替わりましたので新旧のメンバーで「健康で、明るく、楽しく」をモットーに練習に励んでいます。

教室では、基本を大切にすることはもちろんですが、新しい曲、又難しい曲はまず先生の模範演奏を聞いて耳に馴染ませたあと、楽譜を見ながら曲の流れを覚え、少しずつ前に進んで行きますが、それでも難しく中々思うように吹けないのが現実です。童謡や知っている曲、好きな曲も楽譜通りに吹くとなると特に難しさを感じます。

中々手に負えないハーモニカですが、これからもハーモニカを生涯の友とし、毎年10月の関西ハーモニカ連盟主催の関西ハーモニカ祭り、11月に行なわれる蛭池公民館まつり、同月開催のグループ発表会（田口教室）に出演する事、及び依頼があれば地域のボランティアでの演奏活動を目的とし、会員相互でハーモニカを楽しみながら、又聞いて下さる方々に親しみ喜んで頂けるようにしっかり練習し、共に楽しい時間を共有できることを希望し、活動を続けて行こうと思っています。



グッドフェローズハーモニカクラブ

代表 森浦和子

所在地 高槻市城西町6-28、城西集会所
 指導者 浅田道一先生
 練習日 毎月1～4水曜日、13:00～15:00
 会員数 5名
 年齢 70歳代

私たちは高槻市の生涯学習講座で、ハーモニカを受講しました。入江章次先生に基礎から教わり、1997（平成9）年4月にクラブを立ち上げました。その年の11月には、神戸で開催された第8回ハーモニカ祭りに参加しました。「赤とんぼ」「川の流れるように」で、C & C#を落としそうな思いで吹きました。



2002（平成14）年には、厚木で開催された第4回アジア太平洋ハーモニカ大会を聴きに行きました。プロの演奏、コンテストは刺激があり、勉強になりました。わいわいガヤガヤと修学旅行のようでした。この年の10月には、入江先生の教え子による「迷人会」が始まりました。8クラスが集まり、全員ソロの演奏で、多い時には80にもなりました。毎回、仲村会長、田中祥雄先生がゲストでみえ、演奏をして下さいました。年に3～4回ありましたので、皆がよく練習しました。

2006（平成18）年に入江先生が「日本ハーモニカ賞」を受賞され、迷人会でお祝いをしました。私たちのクラスは、ドリフターズの真似をして、ひ

げ眼鏡をかけて（写真）、替え歌をしました。アンコールもあり楽しかったです。



2010（平成22）年からは、浅田道一先生の指導を受けています。浅田先生は、編曲譜を作るのが楽しいと言われます。次々と譜面をいただけるのは幸せなことです。

ハーモニカ祭りの他には、地域のデイサービスに演奏に行きます。唱歌、歌謡曲など10曲ほどを演奏します。歌詞を模造紙に大きく書いて、張り出しますので、顔を上げて大きな声で歌って下さいます。

クラブの人数は少ないですが、明るく元気に練習したいと思います。これからもよろしくお願ひします。



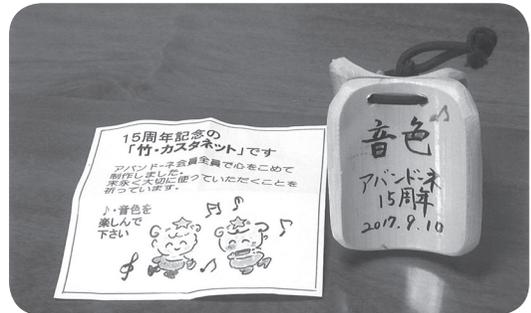
ハーモニカズ・アバンドーネ 15周年記念コンサートを終えて

ハーモニカズ・アバンドーネ 林 和子

2017（平成29）年9月10日（日）、東本願寺しらん交流会館・大谷ホールにて「仲間で奏でるハーモニカ…ハーモニカズ・アバンドーネ15周年記念コンサート」が開催されました。

このコンサートを開催するにあたり、企画委員会を作り、計画立案、開催実施する運びになりました。当日は12時30分開演です。お客様が来ていただけるだろうか・・・すごく心配していましたが、定刻になりますと、会場は300名を超えるお客様で溢れ、とても嬉しかったです。プログラム順に紹介します。

I部では、ソロ26名、アンサンブル7組、この中にはOBの方々の演奏もあり、花を添えていただきました。II部では、「ハーモニカズ・アバンドーネのあゆみ」をスライド放映で説明しました。III部では、ミニライブとして、クロマチックハーモニカ・アコーディオンのコラボ演奏があり、そのあとデュオ・ユットラさんの素晴らしい演奏に会場の皆さんはうっとり聞き惚れていました。出演いただいた先生方、本当にありがとうございました。IV部では、カスタネットによる合同演奏を企画しました。この日のために会員が何度も集まって竹でカスタネットを作り、会場のお客さん一人ひとりに渡しました。そのカスタネットを使って、尚子先生の軽快な指揮で「線路は続くよどこまでも」を会場全員で演奏しました。カスタネットとハーモニカの音色



が響き渡り、その瞬間は、まさに会場が一つになったと感じました。ご来場の皆様からも好評を頂き、企画して良かったと嬉しくなりました。

閉館の5時が迫り、慌ただしくも、無事に終演できてほっとしました。この日、音響の先生や譜面台などの出し入れのお手伝いなど陰で支えて頂いた方にもお世話になりました。次は、会場を変えての懇親会です。皆で食べて、飲んで、またグループを組んで歌や踊りや楽器を使うなど、サプライズの出し物で楽しみました。一日の疲れも吹っ飛んで、仲間との交流も深まったようです。あっという間に時間が過ぎ、宴会も終了、一本締めでまとめてお開きとなりました。

企画委員会の一員として、何か月前から計画・検討に携わって出来上がったコンサートで、忘れられない一日になりました。又、並行して進めてきた「15周年記念史」作りも、出来上がりました。



吉村教室合同発表会、午後 1 時から 6 時まで盛大に

吉村則次

毎年開催している吉村教室合同発表会、今年は例年より1か月早く、10月15日(日)、いつもの堺市東文化会館(愛称、北野田フェスティバル、フラットホール)で開催いたしました。

今年は、教室の生徒からの出場申込者が多く、昼の部では間に合わないので、夜の部も借りて、6時過ぎまで開催しました。

今回は、いつものゲスト当連盟準会員の岡直弥さんに加え、特別参加として中村淑子さん(セレサローサ)と井上文さん(クロードのためのタンゴ)のソロ2曲とデュエット(宝島)の演奏があり、私たち講師陣は、ちょっとひげ目を感じました。

会場は、駅から屋根がある通路で通じていて、当日も雨でしたがこたえませんでした。150名ぐらいの席数の音楽ホールで、寺村安雄さん

もよく利用されています。11か月前の申し込みというのもありがたいことです(多くのホールは12か月前の申し込みである)。ですから、他のホールで1年前申し込みの第一希望が取れなかった時に、第二希望として申し込みに行くことができます。

なお、堺市には、収容人数2,000名という大ホールを建設中です。2019年完成予定。小ホールもあります。楽しみです。



CD「複音ハーモニカ 名曲レパートリー3」

演奏 ハーモニカ振興会専任講師 岩間朱美先生

ハーモニカ振興会事務局長の竹森雅裕様から新発売CDの案内がありましたので、ご紹介します。別売の曲集には複音ハーモニカならではの様々な奏法を取り入れアレンジした曲を掲載しており、ヴァイオリン奏法や3ホールズ奏

法など、より高度な技術を入れながら、馴染みのある10曲「たしかなこと」「町の居酒屋」他をお楽しみいただけます、とのこと。「ふんふんさろん」に見本を展示しています。(編集局) ¥2,800 + 税



| TREMOLLO HARMONICA | |
|--------------------|-----|
| 1. たしかなこと | p4 |
| 2. 町の居酒屋 | p8 |
| 3. 牧場の朝 | p12 |
| 4. ピクニック | p14 |
| 5. ありがとう さようなら | p18 |
| 6. 夜汽車 | p20 |
| 7. ちゃつきり節 | p24 |
| 8. 命ぐれない | p28 |
| 9. 古い日記 | p30 |
| 10. 芭蕉布 | p33 |

演奏：岩間 朱美 (ハーモニカ振興会 専任講師)

垂水ハーモニカ友の会 第13回発表会を終えて

垂水ハーモニカ友の会前会長 澁山晴夫

大型で強い10月22日の台風21号が過ぎ去りほっとしたのも束の間、すぐさま22号が発生し、同様のコースを通るとの予報を聞き、28日の発表会はどうなることかと気をもんでいたところに、更に26日の18時頃に友の会の渡邊会長から電話があり、「家の都合により発表会は欠席します」とのことで、急遽二人の副会長と連絡を取りあい、発表会の体制を整える事としました。

10月28日(土)当日は、台風22号襲来の前日、朝から雨が降っており、JR神戸線の運転見合わせが起きることも心配しましたが、幸い何事もなく発表会を迎えることが出来ました。会員は朝8時45分に集合し、会場の設営やリハーサル、記念撮影等を行い、発表会開始の時間を待つことになりました。12時30分が開場予定でしたが、12時には既に観客が入り始め、開演の13時には540席が満席になりました。

緞帳が下りた舞台上でオープニング曲を吹き始め、10秒程度経過して緞帳が上がると同時に満員の観客から大きな拍手が上がりました。毎回の事ながら、舞台の上で演奏しながら満席のお客様を見られるのは嬉しいものです。

プログラムは進み、第1部終了前のアトラクシ

ョンでは、会場の皆さんに歌ってもらいますが、その最後の曲は、93歳の誕生日を1月後に控えた村上浩一先生の力強い台詞と、刀の代わりにコードハーモニカを振りかざしての名演技付き(写真)の「名月赤城山」で、ヤンヤの拍手喝采で客席を最高に盛り上げました。

第2部では、ゲストの「たーた&まーい」の演奏に続き、観客として来ておられました関西ハーモニカ連盟組織部長で佐秀会師範の梅田恒弘先生に飛び入りで演奏していただきました。

司会は、3年前よりお世話になっていますフリーアナウンサーの高井理恵さん。益々司会に磨きがかかり、次の演奏時間までに少しの間があれば、すかさず原稿にない色々のトークをその間に入れ、観客を楽しませるテクニックには、レバンテホールに常駐して照明やマイクの配置をしていただいていますオペレーターも感心していました。

最後に、友情出演のNHK神戸マリンハーモニカの皆様、ゲスト出演の「たーた&まーい」、並びに飛び入りゲスト出演の梅田先生、アナウンサーの高井様には大変お世話になり、終始、満席の観客を盛り上げていただきましたことに対し、この紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。



連盟サイト閲覧手引き IV (最終回)

編集局 HP 担当 渡辺晃志

関西ハーモニカ連盟の公式行事および連盟会員の活動状況を掲載するホームページです。会員さんの閲覧ツールもパソコン・タブレット・スマホと多彩になりました。編集局としては、どんなデバイスでも見やすい画面で提供するべく苦心しておりますが、なかなかスキルが追いつきません。まずはスマホでも閲覧出来るよう極力スリム化を図ります。

この手引きも今回が最終回となりますが、今後も形を変え『サイト閲覧』の『役立ち情報』として掲載したいと考えます。サイト閲覧に関するご意見をお寄せください。

件名：『サイトに要望』として baaby204@jttk.zaq.ne.jp 渡辺宛てメール願います。

1. 教室案内

関西ハーモニカ連盟に登録されているハーモニカ教室の一覧表です。2017年3月現在で150教室を数えます。府県別・市町村別もご覧頂けます。これからハーモニカを始めたい方、現在のスキルをさらにアップしたいと考え、ハーモニカ教室を探しておられる方に、閲覧をお勧めください。

また、ハーモニカに掲載された教室の紹介記事も一覧できます。新規会員の増強のため『会報バックNO』と共に連盟会員のご利用を待っています。

2. 組織&申請

このページでは、『個人会員入会』『団体会員入会』『後援申請』『教室申請』等の申請書フォームを閲覧出来ます。

利用に際してはフォームをダウンロードした後、パソコンで入力できますので、会員の移動・次年度更新など作業の手間を軽減いただけます。ファイルはPDF形式ですが直接入力できるフリーソフトもあります。会員名簿をエクセルなどで管理している教室では、名簿データを差し込み入力できるソフトを使って作業の簡素化を図れます。詳しい説明をご希望の方は、編集部HP担当までメールください。



今回で連盟サイト閲覧手引きを終了します。ご希望があれば、Web閲覧の一般的な質問にお答えする欄を設けますが、ハーモニカに直接関係の無い内容は、連盟サイト『フリーサイト』上で対応する予定ですので、そちらをご利用ください。

Webの更新について

Webは日々更新されています。その結果がデバイスに反映される方法は、ブラウザ（閲覧ソフト）によって異なります。お使いのブラウザを調べ、更新の方法を確認して更新を見逃さないでください。

主なブラウザには『GoogleChrome』『IE』『Firefox』等があります。それぞれのソフトには、『自動』『手動』の更新方法がヘルプされています。

サイト作成側にも、更新を自動で通知・実行する有料サービスがあります。商用でない連盟サイトでは、閲覧する会員さんに、サイト管理の少しの作業をお願いしています。それらの手順を、今後『フリーサイト』にアップする予定です。

ネット上にサイト更新に関する記事が沢山載っています。その一端を紹介して最終回といたします。閲覧ありがとうございました。

<http://kanshin.hatenablog.com/entry/2015/08/02/201902>

See you again !!

ハーモニカが上達するための大切なこと (69)

全日本総合音楽院・院長 世界ハーモニカ連盟日本支部 (F・I・H) 役員 池田輝樹

■ハーモニカの楽譜について

現在、クロマチックや10穴ハーモニカ等の奏者の方々等は五線譜を使っておられますが、複音ハーモニカの方々の中には、数字譜を主に使われておられる方が居られます。数字譜はハーモニカのみではなく、他の楽器等でも使われていることもあり、一面、便利なこともあります。五線紙がなくても手軽に普通の紙に書くことも出来て便利です。琴や尺八等々の楽器でも独自の楽譜があり、数字譜も同様な効果が発揮できます。ただし、あくまでも基本にあるのは、現在のところ定着している五線譜です。ト音記号、ヘ音記号、中音部記号（ソプラノ、テノール、アルト等もあります）等があり、低音から高音までを網羅して記譜することが出来ます。邦楽器の三味線や琴や笛類、等々も五線譜の記譜も増えてきました。

決して数字譜を否定するわけではありませんが、あくまでも五線譜に習熟した上でうまく数字譜を使うことを考えることが大切です。

数字譜は今だ未完成なところも多々あります。又、音符の長短等を表す時に読みづらいこともあります。例えば4分音符、8分音符、16分音符等は、大きさを変えることも一つの方法だと思います。（以前から使う方も居られました）

〔例〕 1、11、1111 等

私は以前から、楽譜は文字の一種で、いつも目にしていると親しみも湧いてきて、好きになりますし、自然的に読譜力も身につけてきます。

ハーモニカ以外の楽器の方々が大抵、自分の専門楽器の他にピアノを多少だけけれど奏するのはピアノの上達以外に五線譜に習熟することもあると思います。五線譜のト音記号の他にヘ音記号（低音部記号）や中音部記号（ソプラノ、アルト、テノール等があります）等に親しんでくると、バス・ハーモニカやアルト・ハーモニカ等にも適用され、楽し

くなってきます。（バス・ハーモニカやアルト・ハーモニカ等々の教則本を作らなくてははいけません）ともかく、ハーモニカ楽譜の確立、等々は大変大切な事だと思います。

■ハーモニカのベース奏法について

ハーモニカのベースの記譜法もあまり確立されておられません。ベースは以前にも述べましたが、舌による伴奏です。

記譜法は数字譜の方々ではΛ等々を使います。五線譜の時には、この前にも書きましたが、イやイ等で書かれます。まだ完全には確立していないのが現状です。

ハーモニカでは主和音と副三和音の一部しか出せませんが、ギターやピアノ等の伴奏を付けることにより、どのような和音も可能になってきます。和音というのは楽曲の性格を表す大変大切なもので、よく熟知することが肝要です。

最近では楽譜にコード・ネームを付けるのが常識的になってきました。伴奏を付ける、付けないの問題以前にコードを付けておかないと、楽曲の表情と言うか性格が見えてきません。ピアノやギターやアコーディオンや鍵盤ハーモニカ等々の和音の奏せる楽器の方は別として、旋律のみを奏する楽器の方々は和音や和声のことをよく熟知することが肝要です。同じDoを含んでいる和音でも、思いつくだけでも、C、Am、A^b、F、C^{dim}、C^{aug}、C⁷、C⁹、C¹¹、D⁷、等々たくさんあります。又それらの和音の接続する方法等も大変大切な事柄です。和声学を勉強することにより、和音の接続方法等の事柄が良く判るようになります。

尚、ごく身近な楽器に鍵盤ハーモニカがありますが、この楽器は勿論、どんな和音も奏することが出来るし、又、和音と和音の接続方法も身をもって体験することができます。ドレミ楽譜出版社より、拙著の鍵盤ハーモニカ教則本が出版されており、ご参考にしていただきますと大変幸いに

存じます。現在のところ、我が国では唯一の本で、おかげ様で再販を何回も重ねております。大変ありがたいことです。私は昭和 36 年（1961 年）頃にトンボ楽器から、鍵盤ハーモニカが初めて作られた時に（各種ピアノ、テナーサクセス等）依頼されて、その解説書を書いたのです。トンボ楽器の二代目社長の真野市太郎（泰光）さんのご依頼によるものでした。その頃、スズキ楽器の鈴木萬司さんと、トンボ楽器の社長室でお逢いしましたが

話しは致しませんでした。鈴木萬司さんは鍵盤ハーモニカの試作品を、たしか持って来られたと思います。その頃から私は鍵盤ハーモニカに親しんできましたので、実地の体験を教則本に書いたのです。鍵盤ハーモニカにつきましても、機会があればいろいろと述べたいと思っております。私自身がその頃、ハーモニカやアコーディオンやテナー・サクセス等を奏しておりましたので、依頼されたのだと思います。

日本の宝物「童謡」誕生 100 年 II

日本童謡協会会員 もり・けん

100 年前の 1918 年大正 7 年に鈴木三重吉によって児童文学誌「赤い鳥」が創刊され、「かなりや」「ゆりかごの歌」などが発表されました。その後「おとぎの世界」「金の船」「コドモノクニ」「少女倶楽部」などの雑誌が登場、たくさんの子どものための優れた文学作品や子どものための歌（童謡と呼んだのは「赤い鳥」から）が生まれました。

そして「赤い鳥」が廃刊されるまでの 18 年間の日本に次のような珠玉のような童謡が生まれています。

青い眼の人形、赤い靴、赤い鳥小鳥、赤とんぼ、雨、アメフリ、あの町この町、雨降りお月、あわて床屋、兎のダンス、うれしい雛祭り、朧月夜、お山のお猿、金糸雀（かなりや）、カモメの水兵さん、からたちの花、金魚の昼寝、靴が鳴る、こいのぼり、黄金虫（こがねむし）、この道、叱られて、シャボン玉、十五夜お月さん、証城寺の狸囃子、砂山、背比べ、月の沙漠、出船、どこかで春が、隣組、どんぐりころころ、とんび、七つの子、平城山、花かげ、花嫁人形、浜千鳥、浜辺の歌、

春の小川、春よ来い、故郷、蛍、牧場の朝、待ちぼうけ、鞠と殿様、村の鍛冶屋、めえめえ児山羊、椰子の実、山寺の和尚さん、夕日、夕焼小焼、ゆりかごの歌（アイウエオ順）

いかがですか？ 皆さんはほとんど歌えるでしょう？ 譜面なしでハーモニカで吹けるでしょう？ おそらくイエスです。これはみなさんの両親、祖父母のおかげなのです。皆さんは 100 年前には、存在してなかったわけですから。

胎児を含めて 0～5、6 歳までの間にこれだけの、童謡だけではなく。子守唄も、民謡も、歌謡曲も、軍歌もです。知らず知らずのうちにインプットしてもらいました。そしてそれが歌えるようにしてもらい、10 歳くらいに、なんとなくその歌の意味が分かるようになってきました。その時に既に歌えたのですから皆さんにとって本物の歌になりました。死ぬまで歌える歌になっています。

100 年後の日本に童謡が存在するかどうかは皆さんにかかっています。息子や娘に、孫やひ孫にこれを伝えないと次の 100 年はありません。ぜひ童謡を伝えてください。

第四回 岩崎先生から教わった演奏上の技法（最終回） 分散和音の和音を消すやり方

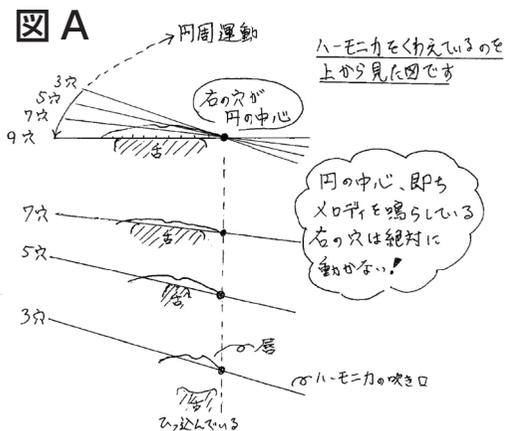
〈あつぎハーモニカ協会 「AHA 会報」 からの転載〉

岩崎先生に教わった複音ハーモニカの技術、今回は分散和音中にメロディは残して和音の音だけ消してしまうやり方です。これは岩崎先生の編曲「椰子の実」や佐藤先生の作曲「野花」などに出てくる、分散和音スタッカートを奏する時に使う技法なので、岩崎先生から教わったマル秘テクニックではなく、複音ハーモニカにおける公式テクニックの一つと言えるかもしれません。

ただ、教本にそのやり方に関する詳細な記述が存在しないのと、実はここから、音楽上極めて重要な要素をコントロールできるスーパーテクニックへと発展していくので、まだやったことのない方はしっかりとマスターしたいところです。

■円周運動による分散和音奏法

と、その前に！ 前提として分散和音を円周運動で行っている人でないと一部理解し辛いので、予備知識として左手を前進させる円周運動の分散和音のやり方を最初に記しておきます。（これも岩崎先生から教わった）のですが、「円周運動という言葉や概念は説明の為に勝手に私が命名しているだけで、先生はこのような説明はされていないかもしれません。）



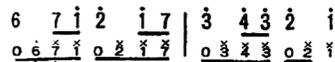
要はメロディを奏する右穴は固定、絶対に動かさずに、和音を奏するハーモニカの左側を前進さ

せることで、唇からハーモニカが遠退き、遠退いたハーモニカを唇が追っかけると窄まっていくので、無理なく9穴から7穴、5穴、3穴と狭い啞えの和音に移行していくことができる仕組みです。右穴を固定して左側だけが前進するとどう動くか、これが右穴を円の中心とした円周運動ということになります。

■分散和音の和音を消すやり方

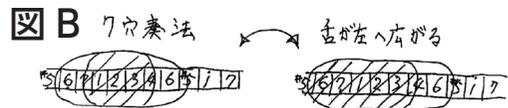
さあ、ここからいよいよ本題の和音を消す方法について話を進めます。

佐藤秀廊作曲「野花」より抜粋



楽譜をご覧ください。メロディはレガートで、奏し、和音部の音はスタッカートの指示があります。つまり、口の右側で出している音はずっと鳴らし続けながら、左の音は途中で消さなければいけません。この左の穴を消す方法は、穴を舌で押さえる方法と唇で押さえる方法の2種類があります。

1) 舌で押さえる方法

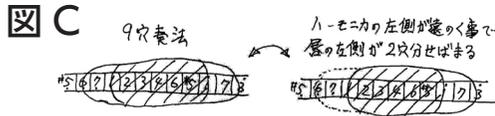


図Bをご覧ください。左側の図では7穴の和音を奏しています。この状態から右側の図のように舌を变形させます。そうしますと左穴は塞がれたので、右穴の音、即ちメロディだけが残ります。この動きを一息でやれば、最初はメロディと和音が同時に鳴り（左図）、次にメロディだけを残して和音を消す（右図）ことができます。

この方法では、和音を奏している状態から単音に移ったり、またはその逆の動きの場合においても、唇の動きが全く無いので、無駄な動きが無い

分スマートで、エネルギーコントロールも容易な為、通常はこちらの方がお勧めです。

2) 唇で押さえる方法



図Cをご覧ください。こちらは逆に舌は全く動かさずに、左手を使ってハーモニカの左側を前進させることで左側の穴を唇で押さえてしまうやり方です。

この方法が特に有効なのは9穴奏法から和音を消す場合です。通常9穴を唾えている時の口の中は、目いっぱいハーモニカが口内に入り込んでいる為、舌とハーモニカの間にスペースがありません。ゆえに舌のみでコントロールすることが物理的に困難です。しかしこの方法ではハーモニカの左側を前進させるので、舌とハーモニカの間にスペースが生まれ、結果的に唇は無理にこじ開けた状態から楽な状態へと移行し、(半ば自動的に)難なく動くことができます。

再度楽譜をご覧ください。例えば8分音符にスタッカートが付いている和音に注目すると、和音を鳴らして16分音符の長さだけ音を支えた後、上記のいずれかの方法により和音を消してしまえば良いのですね。4分音符のスタッカートならば8分音符分です。(剥ぎ取られた残り半分の無音を感じることを忘れずに！)

岩崎先生はこの技術の為の基礎練習として、図Bや図Cの左図から右図へ、右図から左図へ、一息のロングトーンで交互に何度も移行する訓練を教えてくださいました。

ここでは例題として「野花」を取り上げたので、7穴と9穴で説明をしましたが、もちろん5穴と3穴でも可能です。そして3穴で行うこの作業は、そう、小ベースと全く同じ動きということになります。

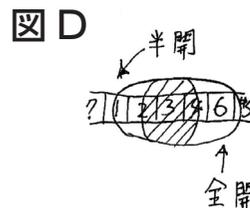
(このことに気付けば、「野花」の5段目4小節目のやり方がわかりますね！AHA会員で今回準師範を受けられる方へのプレゼントです。)

■メロディと和音の音量バランスを任意にコントロールする方法

最後に、このテクニックから派生して、メロディをしっかりと歌いながら静かにポロンポロンと和音を入れることが可能となるスーパーテクニックをご紹介します。

理屈は単純なのですが、穴を消せるということでは、例えばその穴を半分だけ消すというのも可能ではないか?というものです。可能ですよね。

さて半分だけ消すと、音はどうなりますでしょうか。単位時間当たりにリードに送れる息の量が少なくなりますので、音量が小さくなります。右の穴は全開であるのに対し、左の穴は半開。メロディはしっかりと響き渡り、和音の音は控えめな小さな音となるわけです。



この技術は、メロディを歌いながら和音が響きを支える、つまりほとんどの分散和音の箇所でも有効です。また特に高音部のピアノニッシモの分散和音では、楽器の構造上メロディを鳴らす高音が弱音では鳴りにくく、先に低音である和音が大きく鳴ってしまう可能性が高い為、この技術を併用すると極めて効果的です。

舌の微妙な位置取りでその音量バランスを自在にコントロールできるので、いろいろ試してみましょう。

岩崎先生は晩年、メロディを美しく歌いながら静かで品の良い和音を響かせることを、特に大事に考えていらしたように思います。その演奏をやって見せてくれた時の先生の優しい笑顔、暖かく思い出します。(文責: AHA 広報部水野隆元)



ピヤダルポルカ

作曲：J. Vejvoda

提供 寺村安雄

| | |
|----|----|
| C | F |
| C# | F# |

C# → ポルカ調で

$\frac{2}{4}$ *f* $\dot{1}$ $\dot{1}$ $\dot{3}$ $\dot{3}$ | $\overset{\circ}{5}$ | $\overset{\circ}{5}$ 0 $\underline{\underline{55}}$ | $\underline{\underline{54}}$ $\underline{\underline{32}}$ | $\underline{\underline{10}}$ 0 $\underline{\underline{5\flat 5}}$ || *mf* $\underline{\underline{53}}$ 0 $\underline{\underline{5\flat 5}}$ |

Λ Λ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ

$\underline{\underline{53}}$ 0 $\underline{\underline{5\flat 5}}$ | $\underline{\underline{5\dot{1}}}$ $\underline{\underline{2\dot{1}}}$ | $\underline{\underline{\dot{1}7}}$ 0 $\underline{\underline{7\dot{1}}}$ | $\underline{\underline{7\dot{1}}}$ $\underline{\underline{2\dot{1}}}$ | $\underline{\underline{\dot{1}7}}$ 0 $\underline{\underline{7\dot{1}}}$ |

○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ

$\underline{\underline{76}}$ 0 $\underline{\underline{67}}$ | $\underline{\underline{65}}$ 0 $\underline{\underline{5\flat 5}}$ | $\underline{\underline{53}}$ 0 $\underline{\underline{5\flat 5}}$ | $\underline{\underline{53}}$ 0 $\underline{\underline{5\flat 5}}$ | $\underline{\underline{5\dot{1}}}$ $\underline{\underline{2\dot{1}}}$ |

○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ

$\underline{\underline{\dot{1}7}}$ 0 $\underline{\underline{\dot{1}}}$ | $\underline{\underline{2\cdot\flat 2}}$ $\underline{\underline{2\cdot\flat 2}}$ | $\underline{\underline{\dot{1}7}}$ 0 6 | $\underline{\underline{5\flat 6}}$ $\underline{\underline{67}}$ | $\underline{\underline{\dot{1}0}}$ $\underline{\underline{5\flat 6}}$ ||

○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ ○

mp 6 $\underline{\underline{\flat 6}}$ $\underline{\underline{6}}$ | $\underline{\underline{64}}$ $\underline{\underline{32}}$ | 6 - | $\underline{\underline{60}}$ $\underline{\underline{4\flat 5}}$ | $\underline{\underline{5\flat 5}}$ $\underline{\underline{5}}$ |

○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ ○

$\underline{\underline{53}}$ $\underline{\underline{2\dot{1}}}$ | 5 - | $\underline{\underline{5\dot{1}}}$ $\underline{\underline{2\dot{1}}}$ | $\underline{\underline{7\cdot}}$ $\underline{\underline{2\dot{1}}}$ | $\underline{\underline{6\cdot}}$ $\underline{\underline{5}}$ |

○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ ○ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ

$\underline{\underline{7\cdot}}$ - | $\underline{\underline{7\dot{1}}}$ $\underline{\underline{2\dot{1}}}$ | $\underline{\underline{7\cdot}}$ $\underline{\underline{2\dot{1}}}$ | $\underline{\underline{6\cdot}}$ $\underline{\underline{5}}$ || $\underline{\underline{\dot{1}}}$ - || $\underline{\underline{\dot{1}0}}$ $\underline{\underline{5\flat 6}}$ ||

○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ ○ Λ

Trio
F F F

$\dot{1}$ $\underline{0}$ $\overset{\vee}{5}$ | $\overset{\circ}{1}$ $\overset{\circ}{6}$ | $\overset{\circ}{5}$ $\overset{\circ}{6}$ | $\overset{\circ}{1}$ $\overset{\circ}{6}$ | $\overset{\circ}{5}$ $\overset{\circ}{6}$ |

mp $5\cdot$ $\overset{\flat}{5}$ | $5\cdot$ $\overset{\flat}{5}$ | $\underline{5}$ $6\cdot$ | 6 - | $\underline{5}$ 6 $\underline{5}$ |

$\underline{6}$ 5 $\overset{\flat}{5}$ | 4 - | 4 - | $6\cdot$ $\overset{\flat}{6}$ | $6\cdot$ $\overset{\flat}{6}$ |

$\underline{6}$ 7 | 7 - | $\underline{6}$ 7 $\underline{6}$ | $\underline{7}$ 6 $\overset{\flat}{6}$ | 5 - |

$\underline{5}$ $\underline{3}$ $\underline{4}$ $\overset{\flat}{5}$ | $45\cdot$ $\overset{\flat}{5}$ | $45\cdot$ $\overset{\flat}{5}$ | 45 $6\cdot$ | 6 - |

$\underline{5}$ 6 $\underline{5}$ | $\underline{6}$ 5 $\overset{\flat}{5}$ | $\overset{6}{6}$ - | $\overset{7}{6}$ - | $\underline{2}\cdot$ $\underline{3}$ $\underline{4}$ $\underline{5}$ |

$\underline{5}$ $\overset{\vee}{7}$ $\underline{6}$ | $\overset{\vee}{6}$ $\overset{\vee}{5}$ | 5 $\overset{\flat}{5}$ $\underline{45}$ | $\overset{\vee}{6}$ - | $\overset{\vee}{7}$ - |

$\dot{1}$ - | $\overset{1.}{\dot{1}}$ $\underline{0}$ $\overset{\vee}{5}$ | $\overset{2.}{\dot{1}}$ $\underline{0}$ | $\dot{1}$ $\underline{0}$ |

$\overset{\oplus}{\dot{1}}$ - | $\dot{1}$ $\underline{0}$ | $\dot{1}$ $\underline{0}$ |



ハーモニー編集室では、読者の皆様からのハーモニカに関連する「お役立ち情報」の提供や「教えてほしい事」の呼びかけやトピックス等の投稿を歓迎します。投稿者氏名と希望するタイトルを付けて編集室宛てにEメールにワード文書添付でお送り下さい。但し原稿の内容やページ数の都合で全て掲載されるとは限りません。

◆またまた人間国宝さん（吉村則次）

2017年10月6日金曜日、毎日テレビの「となりの人間国宝さん」の番組において、当連盟会員である依藤昌勝さんほか千ヶ峰ハーモニカ・エコーズの5人が、東大阪市の吉田の路上でインタビューを受け、「となりの人間国宝さん」に認定され、証書が授与された。これで、今までに、ハーモニカで、何人の方が人間国宝さんに認定されたのでしょうか。



◆心ときめいた国民文化祭（福田勝）

心待ちにしていた「第32回国民文化祭・なら2017」が奈良100年会館中ホールで開催された。私たちポコファミリーは四つの教室生約60名が青木鈴子、和田惟男両先生のご指導を受けています。今年では文化祭出演を目指して各教室で熱い練習を積み、仕上げの合同練習は7月から9月にかけて、青木先生が丹精こめられている花園や果樹に包まれたご自宅を使わせていただきました。奥座敷や応接室に60名が集い、先生独特のユーモアとツボを押さえたご指導で精度が上がり、次第に本番に向けて自信が湧いてきました。お陰で当日は先生のタクトに会わせて力一杯の演奏ができ、達成感と喜びに心がときめきました。



青木先生ご自宅でのレッスン



10/7 文化祭本番ステージ

◆嬉しかった斎藤寿孝先生の朱筆の添削（編集室）

編集局では平均年齢70数歳のメンバーで頑張っています。212号の発送作業には飛び入りで準師範の方が手伝いに来て下さいました。350余の封筒に600冊の会報とチラシと会員名簿を封入しながらの“雑談の楽しみ”もありました。準師範の試験に5回挑戦されたというその方は「資格挑戦の都度、斎藤寿孝先生の大きな朱色のコメントが解答用紙一杯に書きとめられて戻ってきました。あの朱色の文字が嬉しくて励み

になり、楽しみでしたので何回でも挑戦しようと頑張れました。数年前の話です」と。

会報 212 号に同封した「会報ハーモニーについてのアンケート」に「編集に興味有り」と回答頂いた方が 114 人中 13 人おられました。無記名の方もおられますが、投稿していただくなり、出来れば雑談の輪に加わって頂くのも興味深いかと思います。「ハーモニー」発送の“助っ人”も楽しからずや！ 編集局から声を掛けさせていただくかもしれませんのでよろしくお願い致します。

◆西日本ハーモニカコンテスト挑戦の楽しみ（編集室）

西日本ハーモニカコンテストに出場経験のある方からも「審査の先生方から頂いた自分たちの演奏に対するコメントが有り難かった」との声を聞きました。次のような事が想像できます。

先ず、テープ審査を受けるために期限に間に合うように急いで録音しました。不十分と知りつつ送ったにも関わらず「決勝ライブへの案内」を戴きました。そこには先生方の最初のコメントが添付されていました。良い所と悪い所が的確に指摘されていました。決勝ライブの日までに欠点の克服を誓いました。決勝ライブが終わりました。表彰式では先生方の講評があり、そして手元に最後のコメントを戴きました。「テープ審査の演奏よりは良くなった」とのコメントを戴いた。これだけでもコンテストに挑戦して良かった。

皆さん、経験して初めて知る楽しみ、喜びを求めてコンテストに挑戦しましょう!!

“行って！見て！聞いて！”（私の備忘録）vol.7 「ルーティン」

岩本洋之

日本を良く知る外国人に「寝たきり」の意味を訊かれた。「万年床」は「ベッド生活」と似ているので問題ないらしい。それで、「日本には『布団を敷く、畳む』或いは『布団を上げ下ろしする』というルーティン・ワークが有る。これが体力的に出来なくなれば部屋に籠り、生活の面倒を家族に依存するような状態すなわち“寝たきり”になる。」と説明した。

ベッド生活が一般的な国では「布団の上げ下ろし」のようなルーティンは無い。でも、考えてみれば、この「布団の上げ下ろし」という毎朝・毎晩の作業は身体の柔軟性維持に非常に良い効果をもたらしている。

「ルーティン」と言えば、ラグビー五郎丸のゴールキックにおける「ルーティン」は流行語になりました。難しく言えば「精神の集中」「成功体験の再現」のための事前作業ということでしょうが、要は「真剣に」「素直に」「丁寧に」「より良く」を肝に銘じて作業を進めていると考えられます。

一流の音楽家もそれぞれ独自のルーティンを持っておられると聞いています。ピアニスト、ヴァイオリニスト、声楽家、それぞれ特有の方法で身体的準備作業、五感の覚醒作業、悲喜感情の高揚などを意識して練習に取り組まれるのだと思います。

ハーモニカにおいても基礎練習はまさしく「ルーティン」ととらえて「一音一音を確認しながら丁寧に吹く事」そしてそれを「継続する事」が大事で、それを中途半端に行くと折角の進歩が逆戻りになりかねません。「姿勢、呼吸、リズム、リードの響き、音程を確認しながら一音一音丁寧に吹く」ことをルーティンにしたいですね。

■編集室へ向かう車中は楽しい。誰もがスマホに目を落としているので観察しやすい。男の子がスクロールする指は白魚のように華奢だし、隣の女の子の手にはネイルアート。バギーの幼子は差し出された画面を見て泣き止んだ。つり革って、こんなに高かったかしらと背伸びすると、前の子が立ち上がって目配せ。えっ!と驚いて見せてから「ありがとう」と座って私もしわくちゅの手にスマホを取る。会報もこれで読む日が近いのだろうか。(竹内寿子)

■4回にわたった「サイト閲覧手引き」を終了しました。限られた紙面では、サイトの^{うわつら}上面だけを紹介するに止まりました。記事を書きながら、サイト閲覧? メール? などなど、会員さんの知りたいことが沢山あるのではと感じました。又の機会に連盟『フリーサイト』上でお会いしましょう。(HP担当渡辺晃志)

■2017年の秋は3つの台風が上陸または接近しました。9月中旬の第18号、10月22日の第21号、10月29日の第22号でした。関西ハーモニカ連盟の行事では9月の「宮崎への交流旅行」が影響を受けたことは本誌に報告されているとおりです。10月から11月にかけては国民文化祭が天候に恵まれたものの、多くの演奏会の内、幾つかが中止せざるを得なかったようです。会場のキャンセルやハーモニカ愛好家への中止連絡に追われた

グループも有ったようですが、簡単に「延期」とは言えず、印刷したプログラム等も無駄になり不運としか言えないようでした。編集局員のメンバーも多々台風の影響を受けました。頂戴する寄稿文が溜まる中、様々な事件や突発イベントが重なり、昨年とは違った慌ただしい秋を過ごしました。次号は楽しく編集業務に取り掛かれるように祈っています。(岩本洋之)

■日本童謡協会ではいろいろお世話になった事務局局長が甲賀一宏さんでした。日本童謡協会は、1944年(昭和19年)に設立され、作詞家作曲家の236名で構成されています。1984年(昭和59年)には、赤い鳥創刊1918年7月1日を「童謡の日」と制定し、普及に努めています。初代会長はサトウハチロー、2代会長中田喜直、現会長湯山昭さんらと甲賀一宏さんは永年事務局局長を務められ、私ども会員との間をつないでくださいました。詩人の顔とハーモニカ奏者を兼ねる私も父ともども、いろいろとお世話になりました。ハーモニカ関係の方には日本ハーモニカ芸術協会や、あつぎグラウンドハーモニカアンサンブルの大指揮者、横浜交響楽団常任指揮者や県立立野高校吹奏楽団顧問などのほかに、日本童謡協会他、多方面にわたる音楽に対する甲賀一宏さんの業績は計り知れません。一端を紹介しご冥福をお祈りいたします。(もり・けん)

次号
締切日

次号 第215号 (2018年4月号) の
原稿締切りは **2月15日** (木)、会報編集室必着でお願いいたします。
同封物締切りは 3月5日 (月) 発行は3月中下旬予定。

関西ハーモニカ連盟 会報 第214号 (2018年1月号)

発行人 吹上 晴彦
編集人 もり・けん
発行所 関西ハーモニカ連盟会報編集室
〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F
TEL 06-6354-0323 FAX 06-6353-1393
e-mail : harmonica@cardandmedia.co.jp
印刷・製本 株式会社カード & メディア



会員異動のお知らせ (2018年1月号) 2017. 11. 15現在

組織部長

当連盟では名簿を公開していますが、本人の申し出があれば個人情報(住所・電話番号等)を非公開に出来ることが、2004.7.12の常任理事会で決議されました。また、2014.8.28常任理事会で、会員異動のお知らせの住所表示は市区名までにするとなりました。会報213号(2017年10月号)でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。(敬称略)

(会員氏名・名称・住所等変更、訂正)

| | | | | | |
|----|------|------|----------|-------------------|------------|
| 転居 | 個353 | 森田好信 | 615-8281 | 京都市西京区松尾木ノ曾町11-14 | 2017.10.05 |
|----|------|------|----------|-------------------|------------|

2017. 11. 15現在の個人・準・賛助会員は248名、団体会員は697名(69団体)です。

お願い；個人会員の入会・退会、団体会員の入会、住所・住居表示・電話番号・市外局番等
名簿記載事項の変更は必ず組織部へお知らせ下さい。

《お知らせ》

組織部長 梅田恒弘

◎2017.10.16の常任理事会で「2018年度より関西ハーモニカ連盟個人会員証の発行を取りやめる」ことが決定されました。



募集中!!

**ハーモニカ
と
ワンショット**

お子さん、お孫さん、ご家族の方々、親しい仲間、かわいいペット、大切にしているもの、風景など…ハーモニカと一緒に写っている写真を広く会報読者から募集しています。採用分は会報の表紙または裏表紙に掲載いたします。ふるってご応募ください。プリントまたは写真データを郵便またはメール添付便で下記までお送りください。

関西ハーモニカ連盟会報編集室「ハーモニカとワンショット」係

〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町 6-12 西栄ビル 2F 関西ハーモニカ連盟事務室内

e-mail: harmonica@cardandmedia.co.jp